『私設社会事業』総目次

号	発行年(西暦)	元号	発行月	発行日	角書き	タイトル	肩書き	著者
1	1933	昭和8	2	15	冠頭言	発刊の辞	理事長	丸山 鶴吉
1	1933	昭和8	2	15		全日本私設社会事業連盟月報の創刊を祝す	内務大臣	山本 達雄
1	1933	昭和8	2	15		全日本私設社会事業連盟機関紙ノ発刊ヲ祝ス	司法大臣	小山 松吉
1	1933	昭和8	2	15		発刊ヲ祝ス	東京府社会事業協会会長	香坂 昌康
1	1933	昭和8	2	15		発刊を祝す	(財) 輔成会会長	鈴木 喜三郎
1	1933	昭和8	2	15		私設社会事業の創刊を祝す	(財) 中央社会事業協会会長	清浦 奎吾
1	1933	昭和8	2	15		私設社会事業	代議士	安藤 正純
1	1933	昭和8	2	15		私設社会事業月報の創刊を祝して	代議士	守屋 栄夫
1	1933	昭和8	2	15		月報の発刊を祝して(遺稿)	関西私設社会事業連盟総理	本山 彦一
1	1933	昭和8	2	15		私設社会事業の創刊を祝す		社会事業新聞社
1	1933	昭和8	2	15		私設社会事業創刊の祝辞	副総裁	前田 利定
1	1933	昭和8	2	15		祝辞	西日本私設社会事業連盟理事長	佐々木 祐俊
1	1933	昭和8	2	15		各県私設連盟結成の近況 / 社会事業交換局設立の機運		
1	1933	昭和8	2	15	論叢	司法保護事業と私設社会事業連盟	常務理事	武田 慧宏
1	1933	昭和8	2	15		改正罹災救助基金法と地方私設の助成		
1	1933	昭和8	2	15	東日本セクション	東京私設連盟主催『社会事業デー』迫る		
1	1933	昭和8	2	15		動静 編集子片言		
2	1933	昭和8	3	15	冠頭言	方面委員と社会事業の関係		
2	1933	昭和8	3	15		優生運動に就て		吉水 松巖
2	1933	昭和8	3	15		今期議会予算委員会記録抜萃 守屋栄夫代議士質問事項		
2	1933	昭和8	3	15	西日本セクション	西日本連盟の沿革と全日本連盟の起原		
2	1933	昭和8	3	15	西日本セクション	福岡市私設社会事業連盟の組織成る		
2	1933	昭和8	3	15	関西セクション	クラブ室設置の機熟す 大阪社会事業協会で		
2	1933	昭和8	3	15	関西セクション	京都私設連盟記録より		
2	1933	昭和8	3	15	東日本セクション	東日本私設社会事業連盟役員懇談会		
2	1933	昭和8	3	15	東日本セクション	東京私設連盟の活躍 目睫に迫る社会事業デー		
2	1933	昭和8	3	15		社会事業デー趣旨		
2	1933	昭和8	3	15		三陸震災地慰問記		北越 戒定・武田 慧宏
2	1933	昭和8	3	15		三陸震災海嘯慰問報告	常務理事	北越 戒定・武田 慧宏
2	1933	昭和8	3	15		社会事業の刷新改廃 産声は西日本連盟より実行は大阪府よりか?		
2	1933	昭和8	3	15		神奈川県連合保護会発会式 渡辺海旭師の逝去 坂巻頭三氏逝去		
2	1933	昭和8	3	15		御寄贈刊行物 動静		
3	1933	昭和8	4	15		国際連盟脱退と勅書の煥発 勅書 総理大臣の告諭 / 連盟脱退と社会事業家		
3	1933	昭和8	4	15		社会事業の調査と交換機関の設置		
3	1933	昭和8	4	15		急告 次号より社会事業従事員の求人・求職欄を設置		
3	1933	昭和8	4	15		本格的になった社会事業認可制 / 社会事業統制機関に就いて		
3	1933	昭和8	4	15		第六四回帝国議会衆議院予算委員会速記抜萃(前承) 守屋栄夫代議士質問事項		
3	1933	昭和8	4	15		優生運動に就て(遺稿)		吉水 松巖
3	1933	昭和8	4	15		地方長官会議と罹救法地方助成		
3	1933	昭和8	4	15		司法保護法案について / 今期議会社会事業関係法案に対する公文		
3	1933	昭和8	4	15		乳幼児愛護週間		
3	1933	昭和8	4	15		島根県私設連盟の結成		
3	1933	昭和8	4	15	西日本セクション	全日本私設社会事業連盟の起源(前承)		
3	1933	昭和8	4	15	東日本セクション	社会事業デー		
3	1933	昭和8	4	15	東日本セクション	秋田県私設社会事業連盟の結成		
3	1933	昭和8	4	15		連盟事務室放送欄		
3	1933	昭和8	4	15		御寄贈刊行物		
3	1933	昭和8	4	15		動静 在京常務日誌より		

『私設社会事業』総目次

4	1933	昭和8	5	15	冠頭言	社会事業団体法制定の促進		
4	1933	昭和8	5	15		社会事業デーに就いて		丸山 鶴吉
4	1933	昭和8	5	15		少年法の一家言		峯南
4	1933	昭和8	5	15		東京私設連盟の総会終る		
4	1933	昭和8	5	15		『社会事業デー』の経過と二三の批判		牧 賢一
4	1933	昭和8	5	15		連盟事務室放送欄		
4	1933	昭和8	5	15		遺留失品私下運動の経過報告		
4	1933	昭和8	5	15		丸山理事長の地方講演		
4	1933	昭和8	5	15		私設社会事業助成監督に関する指示事項〔通牒〕		
4	1933	昭和8	5	15		各地の社会事業デー		
4	1933	昭和8	5	15		社会事業交換事務研究懇談会		
4	1933	昭和8	5	15		代議員会招集に関する稟議		
4	1933	昭和8	5	15		御寄贈刊行物		
4	1933	昭和8	5	15		動静 在京常務日誌より		
5	1933	昭和8	6	15	冠頭言	社会事業分野の確立		
5	1933	昭和8	6	15		常務理事・理事・代議員会の招集		
5	1933	昭和8	6	15		民間社会事業と社会連帯責任に就て		前田 利定
5	1933	昭和8	6	15		救貧より防貧へ 社会事業と政治		安藤 正純
5	1933	昭和8	6	15	開放欄	私設社会事業の死活問題		海野 幸徳
5	1933	昭和8	6	15		乳幼児保育事業調査		
5	1933	昭和8	6	15		南洋委任統治領に出現する社会施設！		
5	1933	昭和8	6	15		救急車設置協議会 / 西本願寺社会事業の根本方針		
5	1933	昭和8	6	15		宗教家経営の社会事業奨励に関する件 社会教育主事会議に於ける鳩山文相の訓示中		
5	1933	昭和8	6	15	関西セクション	関西私設社会事業連盟第四回総会		
5	1933	昭和8	6	15	関西セクション	社会事業家クラブ 先鞭は大阪		
5	1933	昭和8	6	15	関西セクション	新私設連盟甦生？ 徳島県私設事業家集まる		
5	1933	昭和8	6	15	関西セクション	滋賀県育児院三十周年記念式		
5	1933	昭和8	6	15	東日本セクション	東京私設連盟第一回理事会		
5	1933	昭和8	6	15	東日本セクション	東日本連盟定期総会迫る		
5	1933	昭和8	6	15	東日本セクション	新協議員打合会		
5	1933	昭和8	6	15	東日本セクション	千葉県私設社会事業連盟第二回総会		
5	1933	昭和8	6	15	東日本セクション	千葉県の社会事業デー		
5	1933	昭和8	6	15	東日本セクション	横浜同人倶楽部消息		
5	1933	昭和8	6	15	東日本セクション	私立海津学舎十周年		
5	1933	昭和8	6	15		御寄贈刊行物 動静 在京常務日誌より		
6	1933	昭和8	7	15	冠頭言	私設団体経営問題に就て		
6	1933	昭和8	7	15	談叢	米国の貧民窟行脚		不老 憐司
6	1933	昭和8	7	15		全日本私設社会事業連盟常務理事会 理事会 代議員会		
6	1933	昭和8	7	15		関西連盟提出建議書内務大臣宛 司法大臣宛		
6	1933	昭和8	7	15	関西セクション	大阪社会事業協会報告		
6	1933	昭和8	7	15	関西セクション	兵庫県私設社会事業連盟総会		
6	1933	昭和8	7	15	関西セクション	岐阜県私設社会事業連盟の結成		
6	1933	昭和8	7	15	関西セクション	大阪鷺洲保育園拾週年記念式		
6	1933	昭和8	7	15	関西セクション	福井県・石川県・富山県私設社会事業連盟		
6	1933	昭和8	7	15	関西セクション	噫！ 小橋実之助氏		
6	1933	昭和8	7	15	東日本セクション	東日本私設社会事業連盟第二回定期総会		
6	1933	昭和8	7	15	東日本セクション	築地の聖路加国際医道院		
6	1933	昭和8	7	15	東日本セクション	横浜新興倶楽部愈竣工		
6	1933	昭和8	7	15	東日本セクション	救急車設置具体案成立		
6	1933	昭和8	7	15	東日本セクション	趣味倶楽部		
6	1933	昭和8	7	15	雑報	社会事業功労者に終身年金 一条秀美氏代議員辞退		
6	1933	昭和8	7	15		丸山理事長代議員招待会 司法保護事業講習会		

『私設社会事業』総目次

6	1933	昭和8	7	15	新代議員選挙 / 安房保育園よりの来信		
6	1933	昭和8	7	15	動静		
6	1933	昭和8	7	15	日誌の中より (六月)		
6	1933	昭和8	7	15	在京常務理事会日誌		
7	1933	昭和8	8	15	冠頭言	社会省新設の機運!	
7	1933	昭和8	8	15		米国に於ける共同募金の実況	小林 政助
7	1933	昭和8	8	15		児童虐待防止法実施期公布せらる	
7	1933	昭和8	8	15	開放欄	海野氏の社会事業補助金問題	岡 定六
7	1933	昭和8	8	15		児童虐待防止法実施に就て	鈴木生
7	1933	昭和8	8	15	報告	理事選挙の文書審議 在京常務理事打合会	
7	1933	昭和8	8	15	交換局報	交換事務概況 社会事業交換の概念 (第一集)	
7	1933	昭和8	8	15	関西セクション	大阪社会事業協会報告	
7	1933	昭和8	8	15	関西セクション	大阪四恩学園財団法人に	
7	1933	昭和8	8	15	関西セクション	山口育児院三十周年記念式	
7	1933	昭和8	8	15	関西セクション	神戸婦人同情会よりの来信	
7	1933	昭和8	8	15	関西セクション	広島育児院	
7	1933	昭和8	8	15	関西セクション	私設社会事業経営研究座談会	
7	1933	昭和8	8	15	西日本セクション	九州の団体だより	
7	1933	昭和8	8	15	東日本セクション	上宮教会主催非常時……お盆の夕	
7	1933	昭和8	8	15	東日本セクション	埼玉自彊会	
7	1933	昭和8	8	15	東日本セクション	札幌市社会事業懇談会	
7	1933	昭和8	8	15	東日本セクション	栃木四恩会黒田徹宗氏の努力	
7	1933	昭和8	8	15	東日本セクション	日本育児院分院の独立＝山形の七窪思恩園	
7	1933	昭和8	8	15	東日本セクション	静岡県社会事業代表者懇談会開催	
7	1933	昭和8	8	15	東日本セクション	夏期林間幼稚園及ラヂオ体操	
7	1933	昭和8	8	15		社会省設置に関する世論 / 著書紹介 脇田良吉著『異常児教育三十年』	
7	1933	昭和8	8	15	動静		
7	1933	昭和8	8	15	日誌の中より (七月中)		
7	1933	昭和8	8	15	編集後記		
						※注 原本の号数は7号誤植	
8	1933	昭和8	9	15	冠頭言	団体運営財の更生	
8	1933	昭和8	9	15		昭和八、九年度新理事長及新常務理事決定す	
8	1933	昭和8	9	15		震災の私の思ひ出	丸山 鶴吉
8	1933	昭和8	9	15		米国に於ける共同募金の実況 (下)	小林 政助
8	1933	昭和8	9	15	会報	陣容新たに第四回理事会丸山理事長再任に決定	
8	1933	昭和8	9	15	会報	第四回理事会招集迄の経過	
8	1933	昭和8	9	15	会報	連盟役員新陣容	
8	1933	昭和8	9	15	交換局報	交換局事務概況	
8	1933	昭和8	9	15	交換局報	鶴見欣次郎氏の就任	
8	1933	昭和8	9	15		警察官子弟の修養保護施設・遺芳寮開設 / 北海道社会事業連合会秋季総会開催	
8	1933	昭和8	9	15	関西セクション	北村翁逝去 (広島修道院長)	
8	1933	昭和8	9	15	関西セクション	京都私設社会事業団体経営座談会	
8	1933	昭和8	9	15	関西セクション	大阪修友会	
8	1933	昭和8	9	15	関西セクション	平安徳義会の乳児院竣工	
8	1933	昭和8	9	15	関西セクション	財団法人武田塾の発展	
8	1933	昭和8	9	15	関西セクション	石川更新会	
8	1933	昭和8	9	15	西日本セクション	長崎県社会事業座談会	
8	1933	昭和8	9	15	東日本セクション	千葉県少年保護問題大蔵省へ陳情 (東京少年審判所管内編入促進ノ為メ)	
8	1933	昭和8	9	15	東日本セクション	第八回札幌市社会事業団体懇談会	
8	1933	昭和8	9	15	東日本セクション	横浜家庭学園を見る	三輪 華城
8	1933	昭和8	9	15	動静		
8	1933	昭和8	9	15	日誌の中より (八月中)		

『私設社会事業』総目次

9	1933	昭和8	10	15	冠頭言	社会事業機能の伸張に就て		
9	1933	昭和8	10	15		社会事業助成法の制定に就いて		牧 賢一
9	1933	昭和8	10	15		社会事業交換の概念（第二集）		
9	1933	昭和8	10	15		北海道の旅		丸山 鶴吉
9	1933	昭和8	10	15		北海道社会事業連合会秋期総会 来会者百名の盛会		
9	1933	昭和8	10	15		道府県社会課長打合会報告		
9	1933	昭和8	10	15		私設社会事業経営難の助成の申請 社会局長官宛		
9	1933	昭和8	10	15	関西セクション	関西私設社会事業連盟委員会		
9	1933	昭和8	10	15	東日本セクション	千葉県『社会事業デー』迫る		
9	1933	昭和8	10	15	東日本セクション	北海道社会事業団体新たに加盟		
9	1933	昭和8	10	15		会報		
9	1933	昭和8	10	15		動静		
9	1933	昭和8	10	15		日誌の中より（九月中）		
10	1933	昭和8	11	15	冠頭言	私設社会事業と経済的保障		
10	1933	昭和8	11	15		経済難局と社会事業助成に就て		谷川 貞夫
10	1933	昭和8	11	15		三井の美挙を私設社会事業の陣営から眺めて		高木 武三郎
10	1933	昭和8	11	15		米国の貧民窟行脚		不老 憐司
10	1933	昭和8	11	15		社会事業現業司と交換所		
10	1933	昭和8	11	15		東京市の社会事業施設 漸次公営より私営へ		
10	1933	昭和8	11	15		非常時独逸の社会事業に関する座談会 大阪社会事業協会主催		
10	1933	昭和8	11	15		岐阜県私設社会事業連盟臨時総会		
10	1933	昭和8	11	15		紙芝居改善の急務		三輪 政一
10	1933	昭和8	11	15		兵庫県の『社会事業デー』		
10	1933	昭和8	11	15		千葉県第二回社会事業デー		
10	1933	昭和8	11	15		山梨県私設社会事業連盟生る		
10	1933	昭和8	11	15		東京児童愛護連盟の発展		
10	1933	昭和8	11	15		会報		
10	1933	昭和8	11	15		動静		
11	1933	昭和8	12	15	冠頭言	昭和八年の社会事業展望 多難なりし過去の轍迹		
11	1933	昭和8	12	15		専門社会事業とは何ぞや？		エル・エイ・ヘルバート
11	1933	昭和8	12	15		教育社会事業として		川田 貞治郎
11	1933	昭和8	12	15		社会事業と共同募金に就いて（一）		無堂生
11	1933	昭和8	12	15		米国の貧民窟行脚		不老 憐司
11	1933	昭和8	12	15		連続運動九日間 千葉県社会事業デー		久保寺 保久
11	1933	昭和8	12	15		父を語る		北村 孝義
11	1933	昭和8	12	15		第二回全国私設社会事業家大会執行順序（昭和九年一月二十日（土）二十一日（日））		
11	1933	昭和8	12	15		丸山理事長 愛媛県下の巡回		
11	1933	昭和8	12	15		各府県連盟の結成三十に達す		
11	1933	昭和8	12	15		電灯料軽減問題に就き市当局に折衝 大阪社会事業協会		
11	1933	昭和8	12	15		東京私設社会事業連盟の新案名簿		
11	1933	昭和8	12	15		岐阜県私設社会事業連盟愈々活動を開始		
11	1933	昭和8	12	15		会報		
11	1933	昭和8	12	15		動静		
12	1934	昭和9	1	15	冠頭言	年頭の辞		丸山 鶴吉
12	1934	昭和9	1	15		『司法保護法』制定の要望		武田 慧宏
12	1934	昭和9	1	15		内務省社会事業助成規則制定参考案		
12	1934	昭和9	1	15		社会事業と共同募金に就いて（二）		無堂生
12	1934	昭和9	1	15		社会事業交換所の躍進		
12	1934	昭和9	1	15		第二回全国私設社会事業家大会此処旬日に迫る！		

『私設社会事業』総目次

12	1934	昭和9	1	15		専門社会事業とは何ぞや？		エル・エイ・ヘルバート
12	1934	昭和9	1	15		父を語る		北村 孝義
12	1934	昭和9	1	15		西日本私設社会事業団体殊に育児事業団体を見学視察しての感想		田中 泰輔
12	1934	昭和9	1	15		第五回理事会大会前日に開催		
12	1934	昭和9	1	15		東京連盟忘年会大会提出議案決定		
12	1934	昭和9	1	15		会報		
13	1934	昭和9	2	15	冠頭言	私設社会事業家大会の成果と連盟の進路		
13	1934	昭和9	2	15		第二回全国私設社会事業家大会を反省す	全連理事	牧 賢一
13	1934	昭和9	2	15		非常時局に直面して建国の大精神を憶ふ		丸山 鶴吉
13	1934	昭和9	2	15		第二回全国大会に於て来会者百人の御回答 一、最も満足されしこと 二、最も不服なりしこと 三、次回開催の場合の注意		
13	1934	昭和9	2	15		大会風景		傍親子
13	1934	昭和9	2	15	急告	私設団体従事員待遇調査 調査票御送付の依頼		
13	1934	昭和9	2	15		第五回理事会報告 連盟執務規定・社会事業交換局規定を決定		
13	1934	昭和9	2	15		会報		
14	1934	昭和9	3	15	冠頭言	社会事業家を遇するの道		
14	1934	昭和9	3	15		留岡・有馬両先生逝く		
14	1934	昭和9	3	15		山形県下 私設社会事業連盟の産声		
14	1934	昭和9	3	15		社会事業交換所の躍進（続）		
14	1934	昭和9	3	15		第二回全国大会に於て来会者百人の御回答（二） 一、最も満足されしこと 二、最も不服なりしこと 三、次回開催の場合の注意		
14	1934	昭和9	3	15		専門社会事業とは何ぞや？		エル・エイ・ヘルバート
14	1934	昭和9	3	15		私設団体従事員待遇調査票に就て		連盟調査部
14	1934	昭和9	3	15		社会事業交換局の事業は斯くして運転する！ 愈々三月一日より事業開始		
14	1934	昭和9	3	15		貴族院予算委員会に於ける罹災救助基金運用に関する質問・大森議員		
14	1934	昭和9	3	15		大阪社会事業協会報告抜萃		
14	1934	昭和9	3	15		第一回交換局協議員会		
14	1934	昭和9	3	15		交換局登録加盟団体懇談会		
14	1934	昭和9	3	15		会報		
14	1934	昭和9	3	15		動静（二月中）		
15	1934	昭和9	4	15	冠頭言	団体経営の刷新 団体内事務統制の諸問題・団体維持経済の再吟味		
15	1934	昭和9	4	15		暴力是認の思想を排す 丸山貴族院議員の演説（三月十七日貴族院本会議速記）		
15	1934	昭和9	4	15		東京全私設団体の義奮蹶起 函館罹災民救援慰問品募集運動		
15	1934	昭和9	4	15	談叢	私設社会事業将来の開拓		篠崎 篤三
15	1934	昭和9	4	15		惨禍の街 修羅の街 函館私設団体を救へ！		
15	1934	昭和9	4	15		専門社会事業とは何ぞや？		エル・エイ・ヘルバート
15	1934	昭和9	4	15		京都私設社会事業の先覚者 田中泰輔翁逝く		
15	1934	昭和9	4	15		丸山理事長地方講演		
15	1934	昭和9	4	15		北海道社会事業デーの開催		
15	1934	昭和9	4	15		兵庫県私設社会事業連盟総会		
15	1934	昭和9	4	15		大阪朝日新聞社会事業団講演会		
15	1934	昭和9	4	15		大阪社会事業協会総会		
15	1934	昭和9	4	15		会報		
15	1934	昭和9	4	15		動静		
16	1934	昭和9	5	15	冠頭言	私設社会事業の再認識と社会事業教育運動の必要		
16	1934	昭和9	5	15	談叢	私設社会事業将来の開拓（二）		篠崎 篤三
16	1934	昭和9	5	15		東京私設社会事業連盟主催 敬老会盛大に終る		
16	1934	昭和9	5	15		社会事業の助長制度と呉同済義会の組織について		
16	1934	昭和9	5	15		東京市会に於ける社会事業に関する質問		中西 雄洞
16	1934	昭和9	5	15		中央指針（社会事業記録交換制度）		エル・ジ・ウッドペーリー

『私設社会事業』総目次

16	1934	昭和9	5	15	各府県私設連盟欄	西日本私設社会事業連盟総会並に理事会、代議員会の召集		
16	1934	昭和9	5	15	各府県私設連盟欄	新潟県私設連盟生る		
16	1934	昭和9	5	15	各府県私設連盟欄	大阪社会事業協会定期総会開催		
16	1934	昭和9	5	15	各府県私設連盟欄	東京市社会事業常設委員新陣容成る		
16	1934	昭和9	5	15	各府県私設連盟欄	第六回理事会報告 / 第四回代議員会		
16	1934	昭和9	5	15	各府県私設連盟欄	規約第三条改正及代議員任期改選に関する委員会		
16	1934	昭和9	5	15	各府県私設連盟欄	函館罹災私設社会事業団体従業員家族救済寄付金報告		
16	1934	昭和9	5	15		会報		
16	1934	昭和9	5	15		動静（三月二十八日～五月三日） 編集後記		
17	1934	昭和9	6	15		県単位実施記念号		
17	1934	昭和9	6	15	冠頭言	統体の力と団体の支援		
17	1934	昭和9	6	15		吾等が全連の拡大強化の為に 殊にその経済的打開の問題		牧野 修二
17	1934	昭和9	6	15		府県連盟単位制に就いて		
17	1934	昭和9	6	15	談叢	私設社会事業将来の開拓（三）		篠崎 篤三
17	1934	昭和9	6	15	各府県私設連盟欄	新潟県私設社会事業連盟発会式举行		
17	1934	昭和9	6	15	各府県私設連盟欄	東京児童指導者会 子供大会		
17	1934	昭和9	6	15	各府県私設連盟欄	三重県便り		
17	1934	昭和9	6	15	各府県私設連盟欄	岐阜県便り		
17	1934	昭和9	6	15	各府県私設連盟欄	全連の函館罹災私設団体慰問		
17	1934	昭和9	6	15	各府県私設連盟欄	北海道社会事業連合会取扱義捐名簿		
17	1934	昭和9	6	15	各府県私設連盟欄	連盟経常費中寄付金報告		
17	1934	昭和9	6	15	各府県私設連盟欄	函館罹災私設社会事業団体従業員家族救済寄付金報告		
17	1934	昭和9	6	15		会報		
17	1934	昭和9	6	15		動静（五月五日～六月六日）		
18	1934	昭和9	7	15	冠頭言	連盟の新機構 改造に随伴せる諸問題・協調精神の拡充徹底		
18	1934	昭和9	7	15	談叢	私設社会事業将来の開拓（四）		篠崎 篤三
18	1934	昭和9	7	15		社会事業の大衆性に就いて		長谷川 良信
18	1934	昭和9	7	15		満洲国社会事業視察		正田 淑子
18	1934	昭和9	7	15		英領北ボルネオについて（一）		横地 素之進
18	1934	昭和9	7	15		連盟経常費中寄付金報告		
18	1934	昭和9	7	15		函館罹災私設社会事業団体従業員家族救済寄付金報告		
18	1934	昭和9	7	15		会津だより		
18	1934	昭和9	7	15	各府県私設連盟欄	第二回茨城県社会事業家大会		
18	1934	昭和9	7	15		会報		
18	1934	昭和9	7	15		動静（六月七日～七月七日）		
19	1934	昭和9	8	15	冠頭言	都鄙社会事業輿論の重大性 私設団体経済難生の仰望・罹災救助基金地方助成の徹底的要望		
19	1934	昭和9	8	15		第二回全国私設社会事業家大会 決議事項は如何に処理されつつあるか		
19	1934	昭和9	8	15		罹災救助基金地方助成最近の動向		
19	1934	昭和9	8	15		罹災救助基金地方助成ニ関スル陳情		
19	1934	昭和9	8	15		児童教化研究会設立せられんとす		
19	1934	昭和9	8	15	談叢	私設社会事業将来の開拓（完）		篠崎 篤三
19	1934	昭和9	8	15		英領北ボルネオについて（二）		横地 素之進
19	1934	昭和9	8	15	各府県私設連盟欄	関東社会事業大会		
19	1934	昭和9	8	15	各府県私設連盟欄	静岡県私設連盟の結成		
19	1934	昭和9	8	15	各府県私設連盟欄	福島県私設社会事業連盟結成此処数月に迫る		
19	1934	昭和9	8	15		会報		
19	1934	昭和9	8	15		動静（七月九日～八月六日）		
20	1934	昭和9	9	15	冠頭言	社会事業資源の打診		
20	1934	昭和9	9	15		母性保護法制定への要求		牧 賢一

『私設社会事業』総目次

20	1934	昭和9	9	15		世界紅万字会		正田 淑子
20	1934	昭和9	9	15		秋畔荘訪問記 吾等の理事長丸山先生の消夏法管見		
20	1934	昭和9	9	15		米国共同募金の最近の情勢		福田 愛蔵
20	1934	昭和9	9	15	各府県私設連盟欄	北海道社会事業団体連合会総会		
20	1934	昭和9	9	15	各府県私設連盟欄	三重県私設連盟臨時総会		
20	1934	昭和9	9	15		恩赦記念保護デー		
20	1934	昭和9	9	15		全連代議員五十嵐喜広氏ノ渡米		
20	1934	昭和9	9	15		北海道授産場創立二十五年祝賀記念式		
20	1934	昭和9	9	15		会報		
20	1934	昭和9	9	15		動静 (八月七日～九月七日)		
21	1934	昭和9	10	15	冠頭言	避く可からざる天災と予防し得る社会的災厄		
21	1934	昭和9	10	15		交換事業を語る 社会事業中央交換所		
21	1934	昭和9	10	15		関西近畿地方風水害被害調査		
21	1934	昭和9	10	15		風水害地に使して		鶴見 欣次郎
21	1934	昭和9	10	15		丸山先生の快著愈々公にせらる 名づけて『五十年ところどころ』と言ふ		
21	1934	昭和9	10	15	各府県私設連盟欄	東京セクション		
21	1934	昭和9	10	15	各府県私設連盟欄	千葉県連盟便り		
21	1934	昭和9	10	15	各府県私設連盟欄	島根県連盟愈々確立		
21	1934	昭和9	10	15	各府県私設連盟欄	福島県私設社会事業連盟		
21	1934	昭和9	10	15		会報		
21	1934	昭和9	10	15		動静 (九月十日～十月八日)		
22	1934	昭和9	11	15	冠頭言	凶農地帯に温手を伸べよ! 私設団体の活躍を要望す		
22	1934	昭和9	11	15		社会事業交換局制度の検討		
22	1934	昭和9	11	15		社会事業教育運動に就いて		不老 憐司
22	1934	昭和9	11	15		私設社会事業家へ終身年金 / 東京救療事業連絡会生る		
22	1934	昭和9	11	15		地方行幸に際し拝謁の光榮に浴する社会事業家諸氏		
22	1934	昭和9	11	15		三県下の諸団体に侍従御差遣 / 丸山理事長下阪せらる		
22	1934	昭和9	11	15		全国職業指導週間 / 十日は克己デー		
22	1934	昭和9	11	15	各府県私設連盟欄	東京セクション		
22	1934	昭和9	11	15	各府県私設連盟欄	千葉県私設社会事業連盟陣容革新		
22	1934	昭和9	11	15	各府県私設連盟欄	西日本私設社会事業連盟総会 九州山口の関係者約百名参集		
22	1934	昭和9	11	15	各府県私設連盟欄	丸山理事長を長崎に迎へて 長崎県私設社会事業連盟		
22	1934	昭和9	11	15	各府県私設連盟欄	佐世保便り 佐世保託児所創立十五週年記念会		
22	1934	昭和9	11	15	各府県私設連盟欄	神戸便り 兵庫県私設社会事業連盟		
22	1934	昭和9	11	15		御寄贈図書		
22	1934	昭和9	11	15		会報		
22	1934	昭和9	11	15		動静 (十月九日～十一月七日)		
23	1934	昭和9	12	15	冠頭言	本年度の連盟運動を顧みる		
23	1934	昭和9	12	15		昭和九年度私設社会事業を顧みて		高木 武三郎
23	1934	昭和9	12	15		社会事業交換局 其制度の検討 (二)		
23	1934	昭和9	12	15		社会功労者から物を聴く会 佐賀県で		
23	1934	昭和9	12	15		乳幼児保護運動の動向		朝原 梅一
23	1934	昭和9	12	15		罹災救助基金助成継続運動 / 罹災法請願貴族院に採択せらる		
23	1934	昭和9	12	15	各府県私設連盟欄	東京セクション / 第三回全国養老事業大会開催 / 酷寒に向ふ折柄 東京府が収容所を数ヶ所に		
23	1934	昭和9	12	15	各府県私設連盟欄	大阪便り・大阪社会事業協会		
23	1934	昭和9	12	15	各府県私設連盟欄	千葉県便り・千葉県仏教社会事業協会発会式		
23	1934	昭和9	12	15	各府県私設連盟欄	三重県便り・(財)三重保育院創立二十週年記念式		
23	1934	昭和9	12	15	各府県私設連盟欄	長崎便り・親岳に国旗を 淳心園の催し		
23	1934	昭和9	12	15	各府県私設連盟欄	佐世保便り・佐世保託児所 金比良町昭和園の移転		
23	1934	昭和9	12	15	各府県私設連盟欄	茨城県便り・茨城県社会事業代表者会 / 丸山理事長郡山市に赴かる		

『私設社会事業』総目次

23	1934	昭和9	12	15		全連代議員改選期迫る		
23	1934	昭和9	12	15		寄贈図書		
23	1934	昭和9	12	15		会報		
23	1934	昭和9	12	15		動静（十一月八日～十一月三十日）		
24	1935	昭和10	1	15	冠頭言	年頭の辞		丸山 鶴吉
24	1935	昭和10	1	15		公私社会事業の脈拍打診		早崎 八洲
24	1935	昭和10	1	15		私設連盟視野の展望		赤城 浅太郎
24	1935	昭和10	1	15		山内猪右衛門の妻		鶴見 欣次郎
24	1935	昭和10	1	15		社会事業交換局 其制度の検討（三）		
24	1935	昭和10	1	15		社会事業団体へ歳末御下賜金		
24	1935	昭和10	1	15	各府県私設連盟欄	東京セクション		
24	1935	昭和10	1	15		福島県私設連盟の本結成		
24	1935	昭和10	1	15		寄贈図書		
24	1935	昭和10	1	15		会報		
24	1935	昭和10	1	15		動静（十二月四日～十二月二十七日）		
25	1935	昭和10	2	15	冠頭言	伸び行く連盟の機能と私設の守るべき使命線		
25	1935	昭和10	2	15		待望せる大会 全国私設社会事業統制協議大会・主催全日本私設社会事業連盟		
25	1935	昭和10	2	15		社会事業交換局 其制度の検討（四）		
25	1935	昭和10	2	15		貴族院議員間に正に生れんとする社会事業及社会教育の研究団組織		
25	1935	昭和10	2	15		罹災救助基金助成に付ての請願出づ		
25	1935	昭和10	2	15		新年宴会素描		
25	1935	昭和10	2	15	各府県私設連盟欄	福島県私設社会事業連盟結成式		
25	1935	昭和10	2	15	各府県私設連盟欄	大阪便り 大阪社会事業協会		
25	1935	昭和10	2	15	各府県私設連盟欄	三重便り 三重県私設社会事業連盟通信		
25	1935	昭和10	2	15	各府県私設連盟欄	広島便り 第五回広島県私設社会事業連盟総会		
25	1935	昭和10	2	15		御寄贈刊行物		
25	1935	昭和10	2	15		会報		
25	1935	昭和10	2	15		動静（一月七日～一月三十一日）		
26	1935	昭和10	3	15	冠頭言	全国私設社会事業統制協議会を迎ふるに際して		
26	1935	昭和10	3	15		皇紀二千六百年記念事業を起せ！（貴族院予算総会の速記録抜萃）		丸山 鶴吉
26	1935	昭和10	3	15		刮目すべき大会迫る！ 全国私設社会事業家の真剣なる声に聞け		
26	1935	昭和10	3	15		罹災救助基金法再度の請願 貴衆両院に採択せらる		
26	1935	昭和10	3	15		続々結成さる各県連盟 高知県私設社会事業連盟成る／近く発会式を挙行／静岡県私設連盟の結成／新結成 佐賀県私設連盟生る／山口県私設連盟の結成		
26	1935	昭和10	3	15		母性保護運動		小栗 将江
26	1935	昭和10	3	15		母子扶助法要綱（本連盟立案）		
26	1935	昭和10	3	15	各府県私設連盟欄	東京セクション		
26	1935	昭和10	3	15	各府県私設連盟欄	神戸婦人同情会二十週年記念		
26	1935	昭和10	3	15	各府県私設連盟欄	岐阜県私設社会事業連盟 社会事業従事者の勤続勤功者表彰		
26	1935	昭和10	3	15		大阪地方の司法保護団体並に少年保護団体に対する御下賜金伝達式其他		
26	1935	昭和10	3	15		北海道社会事業連合会総会		
26	1935	昭和10	3	15		新たに決定を見たる新代議員		
26	1935	昭和10	3	15		会報		
27	1935	昭和10	4	15		全国協議会記念特集号		
27	1935	昭和10	4	15	冠頭言	邁進せよ！ 連盟運動の進路開拓へ		
27	1935	昭和10	4	15		開会の辞	常務理事	三輪 政一
27	1935	昭和10	4	15		祝辞	内務大臣	後藤 文夫
27	1935	昭和10	4	15		講演		斎藤 実
27	1935	昭和10	4	15		講演		丸山 鶴吉
27	1935	昭和10	4	15		全国私設社会事業統制協議会議事録		

『私設社会事業』総目次

27	1935	昭和10	4	15		委員会報告		
27	1935	昭和10	4	15		大会を省る		
27	1935	昭和10	4	15	各府県私設連盟欄	東京セクション		
27	1935	昭和10	4	15		会報		
							※注 原本の号数は27号誤植	
28	1935	昭和10	5	15	冠頭言	連盟の実態凝視と連盟人としての本務		
28	1935	昭和10	5	15		ケースウオークに就て		小栗 将江
28	1935	昭和10	5	15		鉄窓便り (一)		
28	1935	昭和10	5	15		現下の社会不安を如何にするか (衆議院緊急質問要旨)		安藤 正純
28	1935	昭和10	5	15		東京セクション		
28	1935	昭和10	5	15		動静 (三月一日～四月三十日)		
28	1935	昭和10	5	15		会報		
							※注 原本の号数は28号誤植	
29	1935	昭和10	6	15	冠頭言	社会事業立法並に統制への要求		
29	1935	昭和10	6	15		亡き母を憶ふ		丸山 鶴吉
29	1935	昭和10	6	15		ひとり言		落合 芳子
29	1935	昭和10	6	15		鉄窓便り (二)		
29	1935	昭和10	6	15	各府県私設連盟欄	東京セクション		
29	1935	昭和10	6	15	各府県私設連盟欄	託児所保姆講習会開催・茨城県私設社会事業連盟		
29	1935	昭和10	6	15	各府県私設連盟欄	岐阜自助会館長西脇政一氏岐阜市教育会ヨリ表彰サル		
29	1935	昭和10	6	15	各府県私設連盟欄	三重県私設社会事業連盟会報抜萃		
29	1935	昭和10	6	15		会報		
30	1935	昭和10	7	15	冠頭言	社会事業の可変性と国民浄化運動への参加		
30	1935	昭和10	7	15		社会事業理論の貧困		牧 賢一
30	1935	昭和10	7	15		調査機関の拡充と活用		磯村 英一
30	1935	昭和10	7	15		丸山先生の寧日なき活躍 選挙肅正に東奔西走		
30	1935	昭和10	7	15		全連常設研究委員会生る		
30	1935	昭和10	7	15		全米社会事業大会の盛況を見よ!		
30	1935	昭和10	7	15		私設社会事業従業員待遇調査票に就いて		
30	1935	昭和10	7	15		少年自治訓練所としての米国フォード共和団 (一)		
30	1935	昭和10	7	15	各府県私設連盟欄	秋元梅峰師老周忌追悼大講演・茨城県		
30	1935	昭和10	7	15	各府県私設連盟欄	第三回岐阜県私設社会事業連盟定期総会		
30	1935	昭和10	7	15	各府県私設連盟欄	東京セクション		
30	1935	昭和10	7	15		会報		
30	1935	昭和10	7	15		動静 (五月二十日～六月二十七日)		
30	1935	昭和10	7	15		編集後記		
31	1935	昭和10	8	15	冠頭言	公私社会事業大会を控へて 大会を操縦する大衆性と専制性		
31	1935	昭和10	8	15		『私設社会事業とは何ぞや』と言ふ事に就いての私見		村松 義朗
31	1935	昭和10	8	15		私設社会事業従業員の待遇について		三浦 かつみ
31	1935	昭和10	8	15		米国及加奈陀両国の直面しつつある労働階級に投影する最低生活標準の恢復 (全米社会事業大会ノ歓迎挨拶)		メリー・ヴァン・クレツキ
31	1935	昭和10	8	15		少年自治訓練所としての米国フォード共和団 (二)		
31	1935	昭和10	8	15		選挙肅正 千三百万の有権者に社会事業家は斯く叫ぶ 国政の常道復帰		
31	1935	昭和10	8	15		聖恩に感泣す		越智 天海
31	1935	昭和10	8	15		全連常設研究委員会の動向 懸案中の『社会事業統制法』の研究討議に入る		
31	1935	昭和10	8	15		国領夏期児童転住所の事ども		鶴見 欣次郎
31	1935	昭和10	8	15		細民社会の児童と醜業婦よりも悲惨な母性		落合 芳子
31	1935	昭和10	8	15	各府県私設連盟欄	東京セクション		
31	1935	昭和10	8	15	各府県私設連盟欄	横浜中村愛児園 母子寮を新設		
31	1935	昭和10	8	15		会報		

『私設社会事業』総目次

31	1935	昭和10	8	15		動静（七月一日～七月三十一日）		
31	1935	昭和10	8	15		編集後記		
32	1935	昭和10	9	15	冠頭言	方面委員と選挙粛正		
32	1935	昭和10	9	15		方面委員制度革新の好機 選挙粛正の叫びと委員の改選期を前にして		平野 政夫
32	1935	昭和10	9	15		社会事業大会ファンタジア		早崎 八洲
32	1935	昭和10	9	15		選挙粛正と社会事業		X・Y・Z
32	1935	昭和10	9	15		社事・方面徒然草		伊木 有太郎
32	1935	昭和10	9	15		フォード少年共和団の構成		
32	1935	昭和10	9	15		敢えて社会の反省を求む！ 所謂少年血盟団事件に於ける弁護士中田駿郎氏の弁論		
32	1935	昭和10	9	15		土浦の勤王僧と吉水憲寿氏		鶴見 欣次郎
32	1935	昭和10	9	15	各府県私設連盟欄	東京セクション		
32	1935	昭和10	9	15	各府県私設連盟欄	福島県私設社会事業連盟総会		
32	1935	昭和10	9	15	各府県私設連盟欄	恩賜記念有隣会館 石井氏が松戸に建つ		
32	1935	昭和10	9	15		寄贈図書		
32	1935	昭和10	9	15		会報		
32	1935	昭和10	9	15		動静（八月一日～八月三十日）		
32	1935	昭和10	9	15		編集後記		
33	1935	昭和10	10	15	冠頭言	社会事業の能率と従業員待遇問題		
33	1935	昭和10	10	15		第八回社会事業大会の開催に際し私設社会事業の過去を偲ぶ		相田 良雄
33	1935	昭和10	10	15		社会事業大会常設委員会を組織せよ		牧 賢一
33	1935	昭和10	10	15		母子保護法について		金子 しげり
33	1935	昭和10	10	15		社会事業各分野を通して要望する児童保護問題		三田谷 啓
33	1935	昭和10	10	15		公私社会事業の連絡、協調		中村 三徳
33	1935	昭和10	10	15		大阪に社会事業大会を開催せよ		浜田 光雄
33	1935	昭和10	10	15		本連盟主催・大会出席者晩餐会		
33	1935	昭和10	10	15		調査部の活動		
33	1935	昭和10	10	15		社事・方面徒然草		伊木 有太郎
33	1935	昭和10	10	15		フォード少年共和団の構成		
33	1935	昭和10	10	15	各府県私設連盟欄	創立十周年を迎へ盛んな記念催しの大阪社会事業連盟		
33	1935	昭和10	10	15	各府県私設連盟欄	札幌報恩学園附属恩賜記念農園開園式挙行		
33	1935	昭和10	10	15	各府県私設連盟欄	別府養老院十週年記念式		
33	1935	昭和10	10	15	各府県私設連盟欄	隠岐共生学園創立十周年記念式諸行事		
33	1935	昭和10	10	15	各府県私設連盟欄	東京セクション		
33	1935	昭和10	10	15	各府県私設連盟欄	教化連合会発会と朝鮮社会事業大会・三日勤政殿に行はる		
33	1935	昭和10	10	15	各府県私設連盟欄	山口県私設社会事業連盟開会式挙行サル		
33	1935	昭和10	10	15		会報		
33	1935	昭和10	10	15		動静（九月二日～十月三日）		
33	1935	昭和10	10	15		編集後記		
34	1935	昭和10	11	15	冠頭言	日満不可分精神強化の提唱		
34	1935	昭和10	11	15		第八回全国社会事業大会“批判の一齣”		隅土 満
34	1935	昭和10	11	15		米の問題と社会事業		香西 敏夫
34	1935	昭和10	11	15		断片		小栗 将江
34	1935	昭和10	11	15		斜視片貌		佐々木 登喜夫
34	1935	昭和10	11	15		満洲国代表も出席せる和やかな懇親会風景		
34	1935	昭和10	11	15		日満社会事業家懇談会		
34	1935	昭和10	11	15		全国社会事業大会の状況		
34	1935	昭和10	11	15		逝ける峰田一步翁		鶴見 欣次郎
34	1935	昭和10	11	15		保護雑話		峯南生
34	1935	昭和10	11	15	東京セクション	日本精神薄弱児愛護協会第二回定時総会		
34	1935	昭和10	11	15		兵庫県連合保護会第二回事務講習会開催セラル		
34	1935	昭和10	11	15		会報		

『私設社会事業』総目次

34	1935	昭和10	11	15		動静（十月四日～十月三十一日）		
34	1935	昭和10	11	15		編集後記		
35	1936	昭和11	1	15	冠頭言	年頭の辞		丸山 鶴吉
35	1936	昭和11	1	15		農村社会事業に就て		笠森 伝繁
35	1936	昭和11	1	15		公私社会事業の分野に関する私見		富田 象吉
35	1936	昭和11	1	15		救護施設現状への理解 行詰りを越へて		松島 正儀
35	1936	昭和11	1	15		融和事業の趨勢		山本 正男
35	1936	昭和11	1	15		国民思想の趨向		池川 清
35	1936	昭和11	1	15		職業紹介事業に就て		鈴木 僊吉
35	1936	昭和11	1	15		春と社会事業		早崎 八洲
35	1936	昭和11	1	15		社会事業と映画		浜田 格
35	1936	昭和11	1	15		東京市方面制度座談会 於 鶴水閣		中西 雄洞
35	1936	昭和11	1	15		東京市方面制度座談会 於 鶴水閣		庄野 数彦
35	1936	昭和11	1	15		東京市方面制度座談会 於 鶴水閣		務台 教真
35	1936	昭和11	1	15		東京市方面制度座談会 於 鶴水閣		三輪 政一
35	1936	昭和11	1	15		東京市方面制度座談会 於 鶴水閣		大塚 弘
35	1936	昭和11	1	15		東京市方面制度座談会 於 鶴水閣		磯村 英一
35	1936	昭和11	1	15		東京市方面制度座談会 於 鶴水閣		福田 秀雄
35	1936	昭和11	1	15		東京市方面制度座談会 於 鶴水閣		長谷川 良信
35	1936	昭和11	1	15		東京市方面制度座談会 於 鶴水閣		谷川 昇
35	1936	昭和11	1	15		東京市方面制度座談会 於 鶴水閣		笠原 謙三
35	1936	昭和11	1	15		東京市方面制度座談会 於 鶴水閣		河村 舜応
35	1936	昭和11	1	15		東京市方面制度座談会 於 鶴水閣		三谷 此治
35	1936	昭和11	1	15	小講談	細川ふとる出世の門松（上）		鶴見 欣次郎
35	1936	昭和11	1	15		寄贈図書		
35	1936	昭和11	1	15		東京セクション		
35	1936	昭和11	1	15		会報		
35	1936	昭和11	1	15		動静（十一月一日～十二月二十八日）		
35	1936	昭和11	1	15		編集後記		
36	1936	昭和11	2	15	冠頭言	社会事業統制法制定の促進		
36	1936	昭和11	2	15		私設社会事業の財源問題（一）		高木 武三郎
36	1936	昭和11	2	15		隣保事業管見		谷川 貞夫
36	1936	昭和11	2	15		隣保事業の動向と其使命の検討		吉田 源治郎
36	1936	昭和11	2	15		期待さるゝ第四回全国私設社会事業協議大会大綱成る		
36	1936	昭和11	2	15		丸山理事長を迎へて社会事業座談会・北海道		
36	1936	昭和11	2	15		医療保護事業に就て 結核、性病を中心として		中川生
36	1936	昭和11	2	15		光栄の諸団体 本連盟関係団体（東京府）		
36	1936	昭和11	2	15	小講談	細川ふとる出世の門松（下）		鶴見 欣次郎
36	1936	昭和11	2	15		第一回満洲国社会事業研究生帰国ノ途ニ就ク		
36	1936	昭和11	2	15		記念式の葉		
36	1936	昭和11	2	15		本連盟関係物故者		
36	1936	昭和11	2	15		会報		
36	1936	昭和11	2	15		動静（一月四日～二月四日）		
36	1936	昭和11	2	15		編集後記		
37	1936	昭和11	3	15	冠頭言	全国私設社会事業協議会迫る 私設現業陣容の整備充実と貧窮大衆への心物的活力の補強		
37	1936	昭和11	3	15		中央社会事業協会考案 全国社会事業大会常設委員会に絶対反対す		牧 賢一
37	1936	昭和11	3	15		大会常設委員会に本連盟より宇山、三輪、浜田の三常務出席す		
37	1936	昭和11	3	15		全国社会事業協議会にのぞむ / 全国私設社会事業協議会執行順序		
37	1936	昭和11	3	15		社会事業と農村教育		山口 正
37	1936	昭和11	3	15		農村指導機関としての隣保事業		生江 孝之

『私設社会事業』総目次

37	1936	昭和11	3	15		農村社会事業と農村教育		天谷 虎之助
37	1936	昭和11	3	15		農村指導機関としての隣保事業		古坂 明詮
37	1936	昭和11	3	15		農村社会事業に就て		浜田 光雄
37	1936	昭和11	3	15		労働児童の就学問題		遊佐 敏彦
37	1936	昭和11	3	15		水上隣保事業将来への期待		中村 遥
37	1936	昭和11	3	15		精神薄弱児の心理学的分析		久保寺 保久
37	1936	昭和11	3	15		少年保護事業の実際		石井 敬一郎
37	1936	昭和11	3	15		私設社会事業の財源問題 (二) 助成機関		高木 武三郎
37	1936	昭和11	3	15		社会防衛より見たる麻薬中毒		鄭 寅学
37	1936	昭和11	3	15		全連慈善興行相談部の開始 / 創立五周年を迎ふる満洲国社会事業協会		
37	1936	昭和11	3	15		東京セクション		
37	1936	昭和11	3	15		会報		
37	1936	昭和11	3	15		動静(二月五日～二月二十九日)		
37	1936	昭和11	3	15		編集後記		
38	1936	昭和11	4	15		全国協議会特集号		
38	1936	昭和11	4	15	冠頭言	協議会総意の反映に就いて 社会事業ホライズンの拡充徹底、社会事業行政機能の円転		
38	1936	昭和11	4	15		全国私設社会事業協議会議事録		
38	1936	昭和11	4	15		霏雪下の私設社会事業大会を視る		牧 賢一
38	1936	昭和11	4	15		協議会風景		谷川 貞夫
38	1936	昭和11	4	15		京都御所拝観記		中川生
38	1936	昭和11	4	15		加盟団体及役員移動		
38	1936	昭和11	4	15		近畿の旅路から		不老 隣生
38	1936	昭和11	4	15		慈善興行相談部開始に就て (再び)		
38	1936	昭和11	4	15		会報		
38	1936	昭和11	4	15		動静 (三月二日～三月二十七日)		
38	1936	昭和11	4	15		編集後記		
39	1936	昭和11	5	15	冠頭言	私設団体経営危局に直面して 私設社会事業家の信念、団体の社会信任と惑雲の一掃		
39	1936	昭和11	5	15		競馬法の改正を遶りて 戒厳令下にある非常時議会 本連盟議会運動の経過		
39	1936	昭和11	5	15		全国私設社会事業協議会を顧みて		富田 象吉
39	1936	昭和11	5	15		東京市政の革新と社会事業		磯村 英一
39	1936	昭和11	5	15		農村隣保事業の将来		姫井 芳堂
39	1936	昭和11	5	15		農山漁村救済更生問題と私設社会事業		谷川 貞夫
39	1936	昭和11	5	15		岐阜県私設社会事業連盟第四回定期総会開かる		
39	1936	昭和11	5	15	論叢欄	爆弾建議 是？非？		鉄谷 長太郎
39	1936	昭和11	5	15		大衆の要望する救療法に就いて		中川 幽芳
39	1936	昭和11	5	15		加盟団体への寄付者に対する感謝状贈呈に就て		
39	1936	昭和11	5	15		加盟団体移動		
39	1936	昭和11	5	15		寄贈図書		
39	1936	昭和11	5	15		東京セクション		
39	1936	昭和11	5	15		会報		
39	1936	昭和11	5	15		動静 (三月三十一日～五月九日)		
39	1936	昭和11	5	15		編集後記		
40	1936	昭和11	6	15	冠頭言	国内社会事業統制への進言		
40	1936	昭和11	6	15		農村社会事業と経済問題		笠森 伝繁
40	1936	昭和11	6	15		社会事業の教育的使命		小橋 カツエ
40	1936	昭和11	6	15		自由主義の敗北と社会事業		江草 茂
40	1936	昭和11	6	15		競馬法改正を遶りて 特別委員会に於ける経過 (議事速記録)		
40	1936	昭和11	6	15	連盟彙報	社会事業事務講習会		
40	1936	昭和11	6	15	連盟彙報	社会事業調査会の拡充		
40	1936	昭和11	6	15	連盟彙報	仙台基督教教育院創立三十周年記念式並に院舎移転新築落成式		

『私設社会事業』総目次

40	1936	昭和11	6	15	連盟彙報	広島修道院の近況 目下拡張改築中		
40	1936	昭和11	6	15	連盟彙報	社会事業統制協議会・山形県		
40	1936	昭和11	6	15	連盟彙報	比叡山で社会事業大会		
40	1936	昭和11	6	15		寄贈図書		
40	1936	昭和11	6	15		加盟団体移動		
40	1936	昭和11	6	15		東京セクション		
40	1936	昭和11	6	15		朝鮮私設連盟欄		
40	1936	昭和11	6	15		会報		
40	1936	昭和11	6	15		動静（五月十一日～六月四日）		
40	1936	昭和11	6	15		編集後記		
41	1936	昭和11	7	15	冠頭言	社会事業行政の徹底を望む		
41	1936	昭和11	7	15		転換期に於ける社会事業		竹中 勝男
41	1936	昭和11	7	15		社会事業本質論	衆議院議員	安部 磯雄
41	1936	昭和11	7	15		盲人保護の将来と社会事業への期待		岩橋 武夫
41	1936	昭和11	7	15		非常時社会事業界の問題を拾って		牧 賢一
41	1936	昭和11	7	15		救護技術（院内外）に関する私見		蘆沢 威夫
41	1936	昭和11	7	15		満洲遊記		津田 正夫
41	1936	昭和11	7	15		共産部落見聞記（一）		鶴見 欣次郎
41	1936	昭和11	7	15		慈善興行相談部遽に活気づく		
41	1936	昭和11	7	15		慈善興行相談部開始に就て（三掲）		
41	1936	昭和11	7	15	朝鮮私設連盟欄	朝鮮私設社会事業連盟趣意書		
41	1936	昭和11	7	15	朝鮮私設連盟欄	朝鮮私設社会事業連盟加盟団体一覧表		
41	1936	昭和11	7	15		会報		
41	1936	昭和11	7	15		動静（六月五日～六月三十日）		
41	1936	昭和11	7	15		編集後記		
42	1936	昭和11	8	15	冠頭言	農村社会事業の新興を控へて		
42	1936	昭和11	8	15		農村隣保事業に対する私見		杉山 元治郎
42	1936	昭和11	8	15		医療国策と私設救療事業＝対話の形式で書かれた論文		江草 茂
42	1936	昭和11	8	15		社会事業従事員の生命線（投稿）		山田 道雄
42	1936	昭和11	8	15		児童保護（女兒を主とした）の立場より防犯施設の拡大と現行刑法に就ての私見		中川 幽芳
42	1936	昭和11	8	15		労働婦人問題に関する二三の所見に就て		ウインフレッド・カリス
42	1936	昭和11	8	15		第三回日満社会事業大会愈迫る		
42	1936	昭和11	8	15		共産部落見聞記（二）		鶴見 欣次郎
42	1936	昭和11	8	15		会報		
42	1936	昭和11	8	15		動静（七月一日～七月二十五日）		
42	1936	昭和11	8	15		編集後記		
43	1936	昭和11	9	15	冠頭言	社会事業施設調整の提唱		
43	1936	昭和11	9	15		補習教育と社会事業に於けるその地位		谷山 恵林
43	1936	昭和11	9	15		研究部 牧委員へ		磯村 英一
43	1936	昭和11	9	15		帝都に於ける私設事業の外観は何を語る？		牧 賢一
43	1936	昭和11	9	15		続・業界徒然草		谷川 貞夫
43	1936	昭和11	9	15		無題		鉄谷生
43	1936	昭和11	9	15		共産部落見聞記（完）		鶴見 欣次郎
43	1936	昭和11	9	15		近頃感じた問題		三浦 かつみ
43	1936	昭和11	9	15		吾が事業を語る 本院の育児事業に就いて		若松 文蔵
43	1936	昭和11	9	15		吾が事業を語る 牧村出産相扶組合の現況に就て・新潟県東頸城郡牧村		
43	1936	昭和11	9	15		東京児童指導会国領転住所の実況		
43	1936	昭和11	9	15		東京セクション		
43	1936	昭和11	9	15	連盟彙報	日満社会事業大会開催さる		
43	1936	昭和11	9	15	連盟彙報	朝鮮私設社会事業連盟総会並結成式		
43	1936	昭和11	9	15	連盟彙報	東北六県社会事業講習会		

『私設社会事業』総目次

43	1936	昭和11	9	15	連盟彙報	九州、沖縄、山口各県社会事業大会		
43	1936	昭和11	9	15		寄贈図書		
43	1936	昭和11	9	15		会報		
43	1936	昭和11	9	15		動静（七月二十七日～八月三十一日）		
43	1936	昭和11	9	15		編集後記		
44	1936	昭和11	10	15	冠頭言	社会事業を通し日満不可分関係の強調		
44	1936	昭和11	10	15		第三回日満社会事業大会詳報		
44	1936	昭和11	10	15		第三回国際社会事業大会の概況 アメリカ代議員の報告		牧 賢一抄訳
44	1936	昭和11	10	15		科学的社会事業理論の確立へ		竹内 愛二
44	1936	昭和11	10	15		日満不可分精神の具現と農業移民		高木 武三郎
44	1936	昭和11	10	15		全国に呼びかける 結核予防国民運動計画樹立さる		
44	1936	昭和11	10	15		ゾムマムブリア		早崎 八洲
44	1936	昭和11	10	15		無題		鉄谷生
44	1936	昭和11	10	15		満鮮の旅路から（一）		不老 隣生
44	1936	昭和11	10	15		鹿児島県社会事業懇談会		
44	1936	昭和11	10	15	連盟彙報	皇軍慰問金に対し関東軍司令官より謝状		
44	1936	昭和11	10	15	連盟彙報	丸山理事長を囲んで社会事業座談会		
44	1936	昭和11	10	15	連盟彙報	満洲国社会事業講習生来朝		
44	1936	昭和11	10	15	連盟彙報	記念式ノ葉		
44	1936	昭和11	10	15		動静（九月一日～九月二十七日）		
44	1936	昭和11	10	15		編集後記		
45	1936	昭和11	11	15	冠頭言	国民健康保全への積極的協力		
45	1936	昭和11	11	15		満鮮の旅		丸山 鶴吉
45	1936	昭和11	11	15		私設社会事業の将来		小島 幸治
45	1936	昭和11	11	15		生活標準額検討の必要		松本 征二
45	1936	昭和11	11	15		社会事業理念の確保		川上 賢叟
45	1936	昭和11	11	15		皇道主義社会事業の提唱（投稿）		本谷 久二
45	1936	昭和11	11	15		杉の村ユートピア		鶴見 欣次郎
45	1936	昭和11	11	15		満鮮の旅路から（二）		不老 隣生
45	1936	昭和11	11	15		観菊御会に御召の光栄の社会事業家		
45	1936	昭和11	11	15		上智社会事業講座開設		
45	1936	昭和11	11	15	連盟彙報	畏し侍従御差遣 光栄に感激の諸団体		
45	1936	昭和11	11	15	連盟彙報	愛知県私設社会事業大会		
45	1936	昭和11	11	15	連盟彙報	結核予防国民運動振興講演会		
45	1936	昭和11	11	15	連盟彙報	救癩事業促進座談会		
45	1936	昭和11	11	15	連盟彙報	日満社会事業大会出席者懇談会		
45	1936	昭和11	11	15	連盟彙報	原常務理事送別会		
45	1936	昭和11	11	15	連盟彙報	京阪神基督教社会事業者懇談会		
45	1936	昭和11	11	15	連盟彙報	東京基督教社会事業協会講演懇談会		
45	1936	昭和11	11	15		会報		
45	1936	昭和11	11	15		動静（九月二十九日～十月二十四日）		
45	1936	昭和11	11	15		編集後記		
46	1936	昭和11	12	15	冠頭言	連盟運動のゴールを目指して		
46	1936	昭和11	12	15		昭和十一年業界回顧	常務理事	高木 武三郎
46	1936	昭和11	12	15		託児所の文化的使命と従事者への希望		横田 忠郎
46	1936	昭和11	12	15		隣保事業は果して行詰れるや		姫井 芳堂
46	1936	昭和11	12	15		文献より見た我国の養老思想		岩田 民次郎
46	1936	昭和11	12	15		司法保護の教化的意義		松岡 良友
46	1936	昭和11	12	15		孤嶋飛嶋を語る		鶴見 欣次郎
46	1936	昭和11	12	15		満鮮の旅路から（三）		不老 隣生
46	1936	昭和11	12	15		満洲だより（第一信）		原 新太郎

『私設社会事業』総目次

46	1936	昭和11	12	15		中央公論社出版広告に対する村松梢風氏の推賞文を遶りて		X・Y・Z
46	1936	昭和11	12	15	連盟彙報	方面委員制度の法制化 方面委員令愈々明春より施行		
46	1936	昭和11	12	15	連盟彙報	母子扶助法案要綱成る 来議会に提出の筈		
46	1936	昭和11	12	15	連盟彙報	故斎藤子爵追悼慰霊祭		
46	1936	昭和11	12	15	連盟彙報	市社会局の歳末救済資金三万五千元に決定		
46	1936	昭和11	12	15	連盟彙報	三火会会員栄転祝賀会並に歓迎会		
46	1936	昭和11	12	15	連盟彙報	大原社会問題研究所袂別講演会		
46	1936	昭和11	12	15	連盟彙報	一府十県私設社会事業家第一回懇談会開催		
46	1936	昭和11	12	15	連盟彙報	記念式及発会式		
46	1936	昭和11	12	15		会報		
46	1936	昭和11	12	15		動静（十月二十六日～十一月三十日）		
46	1936	昭和11	12	15		編集後記		
47	1937	昭和12	1	15	冠頭言	年頭の感		丸山 鶴吉
47	1937	昭和12	1	15		私設社会事業の検討題目		上山 善治
47	1937	昭和12	1	15		私設社会事業の権威の為に		牧 賢一
47	1937	昭和12	1	15		新春を迎へ私設社会事業に望むもの		生江 孝之
47	1937	昭和12	1	15		新春を迎へ私設社会事業に望むもの		三田谷 啓
47	1937	昭和12	1	15		病毒国日本の使命		下村 海南
47	1937	昭和12	1	15		社会事業団体保護のため 社会事業臨時連合会を組織し免税運動に乗出す		
47	1937	昭和12	1	15	特集	税制改革に対する全連運動の概要		
47	1937	昭和12	1	15		社会事業調査所感		大野木 克彦
47	1937	昭和12	1	15		農村の一喜一憂と社会事業への期待		笠森 伝繁
47	1937	昭和12	1	15		第七十議会と国民生活安定費に就て		村松 義朗
47	1937	昭和12	1	15		片山哲氏の『第七十議会と社会立法』講演会 / 府県連盟、役員の移動並に加盟団体数		
47	1937	昭和12	1	15		我国救癩史の決定線、三井報恩会の癩撲滅献金に就いて		中川 幽芳
47	1937	昭和12	1	15		満鮮の旅路から（四）		不老 隣生
47	1937	昭和12	1	15	連盟彙報	秩父宮両殿下 畏し社会事業御視察		
47	1937	昭和12	1	15	連盟彙報	第十一回連合会総会状況 北海道社会事業団体連合会		
47	1937	昭和12	1	15	連盟彙報	滋賀県育児院 湘南学園と改称		
47	1937	昭和12	1	15	連盟彙報	一府十県社会事業家懇談会		
47	1937	昭和12	1	15		会報		
47	1937	昭和12	1	15		動静（十二月一日～十二月二十四日）		
47	1937	昭和12	1	15		編集後記		
48	1937	昭和12	2	15	冠頭言	社会事業安定への要望		
48	1937	昭和12	2	15		社会法と社会事業		山口 正
48	1937	昭和12	2	15		社会法と私設社会事業		谷川 貞夫
48	1937	昭和12	2	15		科学的社会事業への再反省		難波 紋吉
48	1937	昭和12	2	15		社会事業の理念と技術		本谷 久二
48	1937	昭和12	2	15		二月ノート		鉄谷 長太郎
48	1937	昭和12	2	15		医療事業界の回顧と展望		三浦 かつみ
48	1937	昭和12	2	15		ディッケンス物語り広告に関する声明書 中央公論社並びに村松梢風氏の出版広告文の認識不足を駁す		東京三火会・大阪二五会
48	1937	昭和12	2	15		栄光に輝く社会事業団体 畏し御下賜金伝達さる（東京府関係）		
48	1937	昭和12	2	15		満鮮の旅路から（五）		不老 隣生
48	1937	昭和12	2	15	社会講談	牛盗人		鶴見 欣次郎
48	1937	昭和12	2	15	連盟彙報	東京セクション		
48	1937	昭和12	2	15	連盟彙報	房総有隣園座談会		
48	1937	昭和12	2	15	連盟彙報	財団法人賛育会増築落成式		
48	1937	昭和12	2	15	連盟彙報	広島修道院出身者達が北村前院長の胸像を建つ		
48	1937	昭和12	2	15	連盟彙報	市社会局の要救護母子調査		
48	1937	昭和12	2	15	連盟彙報	警視庁管内昨年度の親子心中調査		

『私設社会事業』総目次

48	1937	昭和12	2	15	連盟彙報	市社会局の失業救済計画八十二万円を計上		
48	1937	昭和12	2	15	連盟彙報	全日本保育連盟東京第一回総会		
48	1937	昭和12	2	15	連盟彙報	救癩文化講演会		
48	1937	昭和12	2	15	連盟彙報	結核予防講習会		
48	1937	昭和12	2	15	連盟彙報	全日本方面委員連盟の改組		
48	1937	昭和12	2	15	連盟彙報	中央融和事業協会地区中堅青年大会三月初旬に		
48	1937	昭和12	2	15	連盟彙報	自由療養村建設期成会成る		
48	1937	昭和12	2	15		会報		
48	1937	昭和12	2	15		動静（一月四日～一月三十日）		
48	1937	昭和12	2	15		編集後記		
49	1937	昭和12	3	15	冠頭言	社会事業本質の強化に就いて		
49	1937	昭和12	3	15		国民生活安定と結城財政		藤田 進一郎
49	1937	昭和12	3	15		社会事業的法制の進向		新明 正道
49	1937	昭和12	3	15		新国家に於ける福利保護		フーゴー・ラツサル
49	1937	昭和12	3	15		社会事業の技術以前と技術に就て		早田 正雄
49	1937	昭和12	3	15		私設社会事業家気魄の吟味		松島 正儀
49	1937	昭和12	3	15		私設社会事業連盟の将来性に就いて		牧 賢一
49	1937	昭和12	3	15		米国の私設社会事業（上）		宮古 二郎
49	1937	昭和12	3	15		救癩事業の将来		綱脇 竜妙
49	1937	昭和12	3	15		ベルリンより		磯村 英一
49	1937	昭和12	3	15		満鮮の旅路から（六）		不老 隣生
49	1937	昭和12	3	15		寄贈図書		
49	1937	昭和12	3	15	連盟彙報	優良社会事業団体へ御下賜金（団体名一覧）		
49	1937	昭和12	3	15	連盟彙報	母子保護法案と議会		
49	1937	昭和12	3	15	連盟彙報	社会事業助成法制定に関する建議案		
49	1937	昭和12	3	15	連盟彙報	恩賜財団慶福会選奨金受領者		
49	1937	昭和12	3	15	連盟彙報	紀元の佳日に際して県知事より表彰		
49	1937	昭和12	3	15	連盟彙報	愛知県私社連盟・保育連盟合同す		
49	1937	昭和12	3	15	連盟彙報	岡山県選出代議員決定		
49	1937	昭和12	3	15	連盟彙報	朝鮮私設社会事業連盟代議員七名を決定		
49	1937	昭和12	3	15	連盟彙報	公私社会事業懇談会・長崎		
49	1937	昭和12	3	15		会報		
49	1937	昭和12	3	15		動静（二月一日～二月二十八日）		
49	1937	昭和12	3	15		編集後記		
50	1937	昭和12	4	15	冠頭言	私設社会事業家大会迫る		
50	1937	昭和12	4	15		国家と社会事業		大林 宗嗣
50	1937	昭和12	4	15		私設社会事業国庫助成増額 社会事業助成法制定（貴・予算委質問）		丸山 鶴吉
50	1937	昭和12	4	15		隣保事業の再検討		志賀 志那人
50	1937	昭和12	4	15		ベルリンから 第二信		磯村 英一
50	1937	昭和12	4	15		凡ゆる事象を通し社会は軽費診療を要求してゐる		藤田 逸男
50	1937	昭和12	4	15		チェコスロバキヤの労働紹介		池川 清
50	1937	昭和12	4	15		私設社会事業の財源		岡 弘毅
50	1937	昭和12	4	15		社会事業の普及と私設社会事業の助成増額に関する質問（貴・予算委質問）	貴族院議員	関屋 貞三郎
50	1937	昭和12	4	15		児童の教育的保護について		城戸 幡太郎
50	1937	昭和12	4	15		社会事業の民有公営と公有民営（私設社会事業の再検討）		下松 桂馬
50	1937	昭和12	4	15		我が国社会事業の特質 特に救護制度を中心として		本荘 茂
50	1937	昭和12	4	15		米国の私設社会事業（下）		宮古 二郎
50	1937	昭和12	4	15		何故に私設を抹殺するのか 全私連の意義を強化せよ		牧野 修二
50	1937	昭和12	4	15		待望の私設社会事業家の集ひ！ 第五回全国私設社会事業大会が名古屋市に於て		
50	1937	昭和12	4	15		母子保護法施行に対する方針		
50	1937	昭和12	4	15		寄贈図書		
50	1937	昭和12	4	15	連盟彙報	東京セクション		

『私設社会事業』総目次

50	1937	昭和12	4	15	連盟彙報	曹洞宗社会事業大会開かる		
50	1937	昭和12	4	15	連盟彙報	新加盟団体		
50	1937	昭和12	4	15		会報		
50	1937	昭和12	4	15		動静（三月一日～四月六日）		
50	1937	昭和12	4	15		編集後記		
51	1937	昭和12	5	15	冠頭言	過去の私設社会事業大会を顧みて		
51	1937	昭和12	5	15		私設社会事業家の精神的態度		中田 駿郎
51	1937	昭和12	5	15		第五回全国私設社会事業大会提出議題		
51	1937	昭和12	5	15		私設社会事業の財源（承前）		岡 弘毅
51	1937	昭和12	5	15		私設社会事業への要望		竹中 勝男
51	1937	昭和12	5	15		家庭人格の構成に就て		山内 修謙
51	1937	昭和12	5	15		松島正儀君の『私設社会事業家気魄の吟味』を読む		河東田 教美
51	1937	昭和12	5	15		満鮮の旅路から（七）		不老 隣生
51	1937	昭和12	5	15	連盟彙報	生江孝之氏古稀記念出版並ニ社会事業文献賞大綱		
51	1937	昭和12	5	15	連盟彙報	水道使用料減額申請と尿尿汲取料減額申請に就て		
51	1937	昭和12	5	15	連盟彙報	東京セクション		
51	1937	昭和12	5	15		会報		
51	1937	昭和12	5	15		動静（四月七日～五月八日）		
52	1937	昭和12	6	15		第五回全国私設社会事業大会特集号		
52	1937	昭和12	6	15		大会ノ碩言 宣言・決議		
52	1937	昭和12	6	15		提出議題		
52	1937	昭和12	6	15		祝辞	内務大臣	河原田 稼吉ほか
52	1937	昭和12	6	15		開会ノ辞		有坂 泰忍
52	1937	昭和12	6	15		式辞		前田 利定
52	1937	昭和12	6	15		挨拶		丸山 鶴吉
52	1937	昭和12	6	15		大会協議会議事録		
52	1937	昭和12	6	15		閉会の辞		三輪 政一
52	1937	昭和12	6	15		第九回理事監事会 第七回代議員会		
52	1937	昭和12	6	15		若葉薫る金城下に開かれし全私社大会		谷川 貞夫
52	1937	昭和12	6	15		寄贈図書		
52	1937	昭和12	6	15	連盟彙報	渡辺たま氏及山中兼太郎氏の横浜孤児院退職		
52	1937	昭和12	6	15	連盟彙報	東京セクション		
52	1937	昭和12	6	15		会報		
52	1937	昭和12	6	15		動静（五月十一日～六月八日）		
52	1937	昭和12	6	15		編集余滴		
53	1937	昭和12	7	15	冠頭言	社会事業現業家の悩み		
53	1937	昭和12	7	15		日本社会事業の進路		椎尾 弁匡
53	1937	昭和12	7	15		無産運動の目的と社会事業の関係		杉山 元治郎
53	1937	昭和12	7	15		社会施設としての産児調節		石本 静枝
53	1937	昭和12	7	15		血族開放の一面		長田 穂波
53	1937	昭和12	7	15		時局社会事業談叢四題		牧 賢一
53	1937	昭和12	7	15		大会余語 第五回全私社大会の反応と次期仙台大会への期待		谷川 貞夫
53	1937	昭和12	7	15		現下独逸に於ける出発点並に到達点としての国家共同社会		エールリッヒ・ヒルゲンフェルト 金 照明・斎藤 統
53	1937	昭和12	7	15		満鮮の旅路から（八）		不老 隣司生
53	1937	昭和12	7	15		第五回全国私設社会事業大会其の後の動き		奔走子
53	1937	昭和12	7	15	新刊紹介	母子扶助の指針『母子保護法解説』		
53	1937	昭和12	7	15	新刊紹介	『少年不良化の原因と其対策』		
53	1937	昭和12	7	15	東京セクション	同情園火災に就いて		
53	1937	昭和12	7	15	東京セクション	津田亀治郎氏を悼む		
53	1937	昭和12	7	15		寄贈図書		

『私設社会事業』総目次

53	1937	昭和12	7	15		会報		
53	1937	昭和12	7	15		動静（六月九日～七月六日）		
53	1937	昭和12	7	15		編集余滴		
54	1937	昭和12	8	15	冠頭言	無題		
54	1937	昭和12	8	15		我国最近の救貧立法とその『意義』		小島 幸治
54	1937	昭和12	8	15		救療法の制定に就て		鉄谷 長太郎
54	1937	昭和12	8	15		独逸社会秩序の構成		ヘルマン・アルタウス 金 照明・斎藤 統
54	1937	昭和12	8	15		欧洲の生活費		池川 清
54	1937	昭和12	8	15		社会事業会館へ注文する		牧 賢一
54	1937	昭和12	8	15		今次事変と社会事業		憂国生
54	1937	昭和12	8	15		社会事業とソロバン		早崎 八洲
54	1937	昭和12	8	15		保健社会省の設置を顧る		山影 陰士
54	1937	昭和12	8	15		半島同胞の飢餓線上を行く（東京…大邱）		X・Y・Z生
54	1937	昭和12	8	15		満鮮の旅路から（九）		不老 憐司生
54	1937	昭和12	8	15		社会事業講習所設立の促進		
54	1937	昭和12	8	15	東京セクション	同情園災厄追記		
54	1937	昭和12	8	15	東京セクション	東京児童指導会国領転住所概況		
54	1937	昭和12	8	15		寄贈図書		
54	1937	昭和12	8	15		会報		
54	1937	昭和12	8	15		動静（七月八日～八月十日）		
54	1937	昭和12	8	15		編集余滴		
55	1937	昭和12	9	15	冠頭言	国家総動員と社会事業の使命		
55	1937	昭和12	9	15		支那事変を御軫念・開院式異例の聖勅 勅語 内閣告諭 我が対支方針		
55	1937	昭和12	9	15		銃後の社会事業		牧 賢一
55	1937	昭和12	9	15		戦時社会事業の方途		谷川 貞夫
55	1937	昭和12	9	15		軍事扶助法の栞		編集部
55	1937	昭和12	9	15		各地公私設軍人遺家族援護団体の動き		編集部
55	1937	昭和12	9	15		支那事変銃後の後援並に扶助の徹底強化に就て		全国私設社会事業連盟
55	1937	昭和12	9	15		法の期待する母子保護施設と其の現況		船本 数江
55	1937	昭和12	9	15		独逸社会秩序の構成（続）		ヘルマン・アルタウス 金 照明・斎藤 統
55	1937	昭和12	9	15		私設社会事業 質の転換		轟 三四郎
55	1937	昭和12	9	15		来りて援けよ		大坂 鷹司
55	1937	昭和12	9	15		満鮮の旅路から（十）		不老 憐司生
55	1937	昭和12	9	15		日本支那救貧書誌年表		小島 幸治
55	1937	昭和12	9	15	東京セクション	府市共同主催出動兵遺家族扶助各団連絡協議会		
55	1937	昭和12	9	15	東京セクション	東連加盟団体の銃後奉仕への進出状況		
55	1937	昭和12	9	15		会報		
55	1937	昭和12	9	15		動静（八月十一日～九月四日）		
55	1937	昭和12	9	15		編集部通信		
56	1937	昭和12	10	15	冠頭言	事変に直面して私設社会事業の猛奮に期待する！		
56	1937	昭和12	10	15		保健社会省に望む	衆議院議員	松田 竹千代
56	1937	昭和12	10	15		保健政策への希望		山川 菊栄
56	1937	昭和12	10	15		保健社会省の設置について 各国の現状		永井 亨
56	1937	昭和12	10	15		母子保護法の実施に際して		武田 真量
56	1937	昭和12	10	15		社会事業の思想的本質の問題		船山 信一
56	1937	昭和12	10	15		国民精神総動員中央連盟成る！		
56	1937	昭和12	10	15		国民精神総動員と社会事業		高木 武三郎
56	1937	昭和12	10	15		各地団体その後の動き / 応召者芳名・全連加盟団体従事員		
56	1937	昭和12	10	15		開拓者の社会事業観 事変に処して		林 歌子
56	1937	昭和12	10	15	時の問題	保健社会省開設の延期		

『私設社会事業』総目次

56	1937	昭和12	10	15	時の問題	銃後特別税制創設運動		
56	1937	昭和12	10	15	時の問題	女性と社会事業		
56	1937	昭和12	10	15		急告！ 神戸暉精寮の火災		
56	1937	昭和12	10	15	東京セクション	東京連盟定例理事会		
56	1937	昭和12	10	15	東京セクション	中川幽芳氏応召せらる		
56	1937	昭和12	10	15	東京セクション	東連加盟団体の銃後奉仕への進出状況		
56	1937	昭和12	10	15	東京セクション	日本少年指導会		
56	1937	昭和12	10	15	東京セクション	同情園罹災者救援善後委員会の決定		
56	1937	昭和12	10	15		寄贈図書		
56	1937	昭和12	10	15		会報		
56	1937	昭和12	10	15		動静（九月六日～十月七日）		
56	1937	昭和12	10	15		後記		
56	1937	昭和12	10	15	別添	軍事扶助の手続		
57	1937	昭和12	11	15	冠頭言	戦後の社会事業強化		
57	1937	昭和12	11	15		日本の社会事業		安田 徳太郎
57	1937	昭和12	11	15		進出か後退か！		河東田 教美
57	1937	昭和12	11	15	時の問題	業界百年の大計		
57	1937	昭和12	11	15	時の問題	社会事業のなす可き資源の愛護		
57	1937	昭和12	11	15	時の問題	母子保護法と母子保護施設		
57	1937	昭和12	11	15	時の問題	職業的再教育の急務		
57	1937	昭和12	11	15	時の問題	支那事変と社会事業		
57	1937	昭和12	11	15	時の問題	社会事業の自給自足		
57	1937	昭和12	11	15	時の問題	社会病理の研究		
57	1937	昭和12	11	15	時の問題	社会事業関係中央団体懇談会		
57	1937	昭和12	11	15	時の問題	日本の使命と国民精神総動員運動		
57	1937	昭和12	11	15	時の問題	銃後特別税制創設運動の精神		
57	1937	昭和12	11	15		農村更生を目指す社会事業の新方面の開拓		吉田 源治郎
57	1937	昭和12	11	15		半島少年保護問題に就て		鄭 寅学
57	1937	昭和12	11	15		再教育（？）論		船本 数江
57	1937	昭和12	11	15		戦時社会事業の国際性		山口 正
57	1937	昭和12	11	15		協和事業界に望む		浜田 光雄
57	1937	昭和12	11	15		帝都に於ける“銃後の護り”に観るもの		金 照明
57	1937	昭和12	11	15	新刊書紹介	藤野恵・持永義夫著『社会行政』		
57	1937	昭和12	11	15		国民精神総動員運動の進行 / 各地団体の動き / 応召者芳名・加盟団体従事員		
57	1937	昭和12	11	15		一介・不具の裸身として楽人伍長の心境		伊藤 武雄
57	1937	昭和12	11	15		生活ノートから		富永 理
57	1937	昭和12	11	15	東京セクション	上宮教会四十週年を迎ふ		
57	1937	昭和12	11	15	東京セクション	相愛学院生徒の献身		
57	1937	昭和12	11	15	東京セクション	第五回方面救済週間		
57	1937	昭和12	11	15	東京セクション	本連盟皇軍慰問使鶴見欣次郎氏よりの便り		
57	1937	昭和12	11	15		寄贈図書		
57	1937	昭和12	11	15		会報		
57	1937	昭和12	11	15		動静（十月十一日～十一月八日）		
57	1937	昭和12	11	15		後記		
58	1937	昭和12	12	15	冠頭言	待望の社会事業法案に送るの辞		
58	1937	昭和12	12	15		畏し皇后陛下の御仁慈 戦歿の英霊に御歌 / 首相の決意 近衛首相談話		
58	1937	昭和12	12	15		軍事扶助の社会的性格		赤神 良讓
58	1937	昭和12	12	15		軍事扶助法の諸問題 『救護』より『扶助』へ		大河内 一男
58	1937	昭和12	12	15		代議制度の反省		今中 次麿
58	1937	昭和12	12	15		農村社会事業の根本問題		笠森 伝繁
58	1937	昭和12	12	15		農村更生問題		土屋 大助
58	1937	昭和12	12	15		保育の実際に見たる貧困虚弱児（学生研究発表）		辰巳 善雄

『私設社会事業』総目次

58	1937	昭和12	12	15	社会事業法案要綱		
58	1937	昭和12	12	15	新刊書紹介 藤野恵・持永義夫著『社会行政』		
58	1937	昭和12	12	15	国民精神総動員の進行 拳国一致！ 堅忍持久！		
58	1937	昭和12	12	15	業界彙報 保健社会省官制決定 年内に開設準備完了		
58	1937	昭和12	12	15	業界彙報 社会立法の積極化 社会事業法案・職業紹介法改正法案		
58	1937	昭和12	12	15	業界彙報 母子保護法施行令 救護法中改正要旨		
58	1937	昭和12	12	15	応召者芳名・加盟団体従事員		
58	1937	昭和12	12	15	満洲開拓便り		
58	1937	昭和12	12	15	東京セクション 皇后陛下の御仁慈		
58	1937	昭和12	12	15	東京セクション 婦人団体連盟の活動		
58	1937	昭和12	12	15	東京セクション 本連盟研究委員牧賢一氏北支出張		
58	1937	昭和12	12	15	東京セクション 本連盟皇軍慰問使鶴見欣次郎氏元気で帰京		
58	1937	昭和12	12	15	寄贈図書		
58	1937	昭和12	12	15	会報		
58	1937	昭和12	12	15	動静(十一月九日～十一月十八日)		
58	1937	昭和12	12	15	後記		
59	1938	昭和13	1	15	冠頭言 非常時局下の戊寅年頭感		丸山 鶴吉
59	1938	昭和13	1	15	新春、首相の第一声 本年の行動こそ世界的意義〔近衛首相談〕		
59	1938	昭和13	1	15	社会事業法案の審議を遶りて		全私社連盟編集部
59	1938	昭和13	1	15	資料 内務省原案(社会事業法案要綱)		
59	1938	昭和13	1	15	資料 社会事業法案審議略録		
59	1938	昭和13	1	15	資料 全私社連の建言・意見(大阪京都方面の意見含む)		
59	1938	昭和13	1	15	資料 同特別調査委員会(第一回・第二回)		
59	1938	昭和13	1	15	資料 社会事業法案立案ニ関スル陳情		
59	1938	昭和13	1	15	資料 社会事業法案要綱(原案及び修正案)		
59	1938	昭和13	1	15	銃後の施設拡充 厚生省の創設に際し近衛首相語る		
59	1938	昭和13	1	15	厚生省とは何をする官庁か？ 新省の輪郭		
59	1938	昭和13	1	15	日満社会事業連盟本結成ニ関スル経過報告		全私社連盟
59	1938	昭和13	1	15	附・日満社会事業連盟規約案		
59	1938	昭和13	1	15	北支皇軍慰問紀行(上)	慰問使	鶴見欣次郎
59	1938	昭和13	1	15	全国託児所・幼稚園児童創作品(童画と手芸品)展覧会 主催横須賀乳幼児保護会		
59	1938	昭和13	1	15	東京セクション 十一月九日～一月十五日		
59	1938	昭和13	1	15	会報 十二月十一日緊急常務理事会		
59	1938	昭和13	1	15	会報 十二月十五日緊急常務理事会		
59	1938	昭和13	1	15	会報 十二月十七日緊急常務理事会		
59	1938	昭和13	1	15	会報 十二月二十八日最終常務理事会		
59	1938	昭和13	1	15	動静 十一月二十日～十二月二十八日		
59	1938	昭和13	1	15	山中兼太郎氏の逝去を悼む		
59	1938	昭和13	1	15	本連盟常務理事 梅軒・宇山繁氏の逝去を悼む		
59	1938	昭和13	1	15	後記		
60	1938	昭和13	2	15	冠頭言 非常時の平常化に伴ふ『社会事業の計画化』		
60	1938	昭和13	2	15	輝く憲法発布五十年式典 勅語、近衛首相の謹話、内閣告諭・訓令		
60	1938	昭和13	2	15	私設社会事業の行衛		谷川 貞夫
60	1938	昭和13	2	15	社会事業法案愈々発表さる！ 代議員会を中心とするその後の運動経過		全私社連盟編集部
60	1938	昭和13	2	15	資料 社会事業法案		
60	1938	昭和13	2	15	資料 近畿私設社会事業協議会決議		
60	1938	昭和13	2	15	資料 同社会事業に関する建議		
60	1938	昭和13	2	15	資料 輿論の動向		
60	1938	昭和13	2	15	社会事業研究の指標		三好豊太郎
60	1938	昭和13	2	15	北支皇軍慰問紀行(中)	慰問使	鶴見欣次郎
60	1938	昭和13	2	15	戦線便り 各勇士より		
60	1938	昭和13	2	15	国民精神総動員中央連盟声明		
60	1938	昭和13	2	15	第二回強調週間 家庭実践一日一行		

『私設社会事業』総目次

60	1938	昭和13	2	15	東京セクション	宇山理事告别式		
60	1938	昭和13	2	15	東京セクション	東連評議員会		
60	1938	昭和13	2	15	東京セクション	光栄の加盟団体		
60	1938	昭和13	2	15	東京セクション	加盟申込団体		
60	1938	昭和13	2	15		故宇山繁氏を憶ふ		
60	1938	昭和13	2	15	会報	一月十日臨時新年常務理事会		
60	1938	昭和13	2	15	会報	一月二十日緊急常務理事会		
60	1938	昭和13	2	15	会報	一月二十八日定例常務理事会		
60	1938	昭和13	2	15	会報	二月二日緊急常務理事会		
60	1938	昭和13	2	15	会報	二月五日緊急常務理事会		
60	1938	昭和13	2	15	動静	一月四日～二月七日		
60	1938	昭和13	2	15		金品募集許可ニ関スル件		
60	1938	昭和13	2	15	急告	連盟分担金送金願ひ		
60	1938	昭和13	2	15		後記		
61	1938	昭和13	4	15	冠頭言	私設社会事業の使命愈重大 厚生省設置と社会事業法制定		
61	1938	昭和13	4	15		社会事業法の制定に当りて 官民の協力を要望す	貴族院議員	丸山 鶴吉
61	1938	昭和13	4	15		退任の御挨拶		丸山 鶴吉
61	1938	昭和13	4	15		後記		
62	未見							
63	未見							
64	1938	昭和13	6	15	冠頭言	私設社会事業の行く道 社会事業法制定の意義と私設社会事業家の態度		安藤 正純
64	1938	昭和13	6	15		本連盟理事長更迭 丸山前理事長を顧問に戴き安藤先生を新理事長に迎ふ		
64	1938	昭和13	6	15		丸山先生を南米に送るの夕 業界稀に見る盛会		
64	1938	昭和13	6	15		全連代議員会報告		
64	1938	昭和13	6	15		全連今期役員名簿		
64	1938	昭和13	6	15	各地通信	第七回広島県私設社会事業連盟総会開催		
64	1938	昭和13	6	15	各地通信	福井県私連主催第一回社会問題社会事業の講演会並講習会		
64	1938	昭和13	6	15	各地通信	東京連盟ニュース一束		
64	1938	昭和13	6	15		失業者の協同組合		木立 義道
64	1938	昭和13	6	15		社会事業法案の審議 (一) 衆議院本会議抄録		編集部
64	1938	昭和13	6	15	会報	連盟の新陣容成る		
64	1938	昭和13	6	15		後記に代へて・お詫び		
65	1938	昭和13	6	30		臨時増刊号		
65	1938	昭和13	6	30	冠頭言	急告！社会事業法発布記念地方別講習会開催方通牒	全私社連盟理事長	安藤 正純
65	1938	昭和13	6	30		社会事業法 (昭和十三年三月三十一日 法律第五十九号)		
65	1938	昭和13	6	30	講演	社会事業法に就て	厚生省保護課長	灘尾 弘吉
65	1938	昭和13	6	30		関係勅令・施行細則出づ！ 社会事業法を活かせ！		
65	1938	昭和13	6	30	資料	社会事業法施行期日ノ件 (勅令第四百四十四号)		
65	1938	昭和13	6	30	資料	社会事業法第一条ノ規定ニ依ル事業指定ノ件 (勅令第四百四十五号)		
65	1938	昭和13	6	30	資料	社会事業法第十三条ノ規定ニ依ル市指定ノ件 (勅令第四百四十六号)		
65	1938	昭和13	6	30	資料	中央社会事業委員会官制 (勅令第四百四十七号)		
65	1938	昭和13	6	30	資料	社会事業法施行細則 (厚生省令第十四号、昭和十三年六月二十九日)		
65	1938	昭和13	6	30		国民精神総動員パンフ		
66	1938	昭和13	7	15		社会事業法実施記念特集号		
66	1938	昭和13	7	15	冠頭言	国民精神総動員と私設社会事業家		
66	1938	昭和13	7	15		関西社会事業法施行記念懇談会		
66	1938	昭和13	7	15	講演	社会事業法に就て (要旨)		灘尾 弘吉
66	1938	昭和13	7	15		当日懇談会記録 大阪社会事業協会筆記		
66	1938	昭和13	7	15		社会事業法は如何に運用せられるか？		

『私設社会事業』総目次

66	1938	昭和13	7	15		社会事業法案に就いて		厚生省
66	1938	昭和13	7	15		社会事業法運用に対する当局の用意		編集部
66	1938	昭和13	7	15		社会事業法案の審議（二）衆議院本会議抄録		編集部
66	1938	昭和13	7	15	業界ニュース	中央社会事業委員会四十五委員決定 会長は木戸厚相		
66	1938	昭和13	7	15	業界ニュース	小樽育成院創立四十周年輝やく記念祭 六月十日盛大に挙る		
66	1938	昭和13	7	15	業界ニュース	東京連盟ニュース一束		
66	1938	昭和13	7	15		傷痍軍人は我等の手で		傷兵保護院
66	1938	昭和13	7	15		山形県『鳥越共働組合』を見る 農村社会事業の組的經營の一例として		林 新助
66	1938	昭和13	7	15		新社会立法の解説（一）改正職業紹介法		編集部
66	1938	昭和13	7	15		朝鮮私連第二回総会を開く		
66	1938	昭和13	7	15		後記		
67	1938	昭和13	8	15	冠頭言	国民精神総動員と私設社会事業家（其二）		
67	1938	昭和13	8	15		社会事業法案の審議（三）衆議院委員会抄録		編集部
67	1938	昭和13	8	15	会報	惨禍の街・神戸私設団体の復興に協力せよ！ 私設団体の復興は先づ私設同志の力で！		
67	1938	昭和13	8	15	会報	施設別水難被害総額調査表		
67	1938	昭和13	8	15	関西水害通信	園児の無事は誠に奇蹟		
67	1938	昭和13	8	15	各地ニュース	急告！九月末届出の件		
67	1938	昭和13	8	15		丸山先生記念品贈呈基金募集（中間報告）		
67	1938	昭和13	8	15		農村と産業組合		稲村 隆一
68	1938	昭和13	9	15	冠頭言	事変下に於ける社会事業分野への提言		
68	1938	昭和13	9	15		時局に際し社会事業界を省る	上宮教会	高木 武三郎
68	1938	昭和13	9	15		中央社会事業委員会委員の命を拝したる余の『三空感』	武田塾	武田 慎治郎
68	1938	昭和13	9	15		傷痍軍人は我等の手で 機械や工具を改造してでも傷痍軍人は元の職場へ		傷兵保護院
68	1938	昭和13	9	15		水難紀行		鶴見 欣次郎
68	1938	昭和13	9	15		銃後援強化週間実施要綱（昭和十三・八・四次官会議決定）		
68	1938	昭和13	9	15		『ケース・ウオークの理論と実際』 竹内愛二氏の近著を読む		谷川 貞夫
68	1938	昭和13	9	15		拓け・満洲！ 送れ・花嫁		編集部
68	1938	昭和13	9	15		『キャンプ』るぼるたーじゅ		藤井 円雄
68	1938	昭和13	9	15	会報	安藤理事長渡支		
68	1938	昭和13	9	15	会報	丸山前理事長帰朝		
68	1938	昭和13	9	15	通牒	社会事業法実施後ニ於テ発生スル私設団体ノ諸問題ニ関スル件（各私連宛 昭和十三年九月十二日）		
68	1938	昭和13	9	15	急告	神戸私設団体を救へ！		全私社連盟
68	1938	昭和13	9	15		後記		
69	1938	昭和13	10	15	冠頭言	事変下に於ける社会事業分野への提言（其二）		
69	1938	昭和13	10	15		社会事業法今後の課題		岡 弘毅
69	1938	昭和13	10	15		社会事業法案の審議（四）衆議院委員会抄録		編集部
69	1938	昭和13	10	15		『軍人援護』に聖慮畏し優渥なる勅語を賜ふ 御内帑金三百万円下賜		
69	1938	昭和13	10	15		首相謹話		
69	1938	昭和13	10	15		皇后陛下傷病兵に有難き御歌を賜ふ		
69	1938	昭和13	10	15		総裁に皇族殿下奉戴 軍人援護会を設立 民間各団体を包括統一		
69	1938	昭和13	10	15		戦線こそ更生の道場		
69	1938	昭和13	10	15		曾ての『保護』少年中に八十一機撃墜の猛者あり		
69	1938	昭和13	10	15		戦線佳話を裏切り少年犯罪増加 家庭の注意喚起		
69	1938	昭和13	10	15	各地ニュース	北海道社会事業団体連合会総会開催		
69	1938	昭和13	10	15	各地ニュース	輿水伊代吉氏表彰		
69	1938	昭和13	10	15	各地ニュース	千葉県私連第二回総会		
69	1938	昭和13	10	15	各地ニュース	東京私設社会事業連盟		
69	1938	昭和13	10	15	各地ニュース	日本メソヂスト東京社会事業連盟講談と映画の夕		
69	1938	昭和13	10	15	各地ニュース	全連囑託鶴見欣次郎中支へ		

『私設社会事業』総目次

69	1938	昭和13	10	15	各地ニュース	大阪控訴院管内司法保護事業研究会		
69	1938	昭和13	10	15	各地ニュース	山口県方面委員連盟結成式		
69	1938	昭和13	10	15	各地ニュース	満洲国社会事業研究生来朝		
69	1938	昭和13	10	15	各地ニュース	理事長、中・北支を視察		
69	1938	昭和13	10	15		明治節奉祝実施要綱（昭和一三・九・三十 内閣情報部国民精神総動員部会決定）		
69	1938	昭和13	10	15		国民精神作興週間実施要綱（昭和一三・九・二二 次官会議決定）		
69	1938	昭和13	10	15		国府和を乞ふも断乎对手とせず！		
69	1938	昭和13	10	15		国民健康保険法の解説（1） 新社会立法の解説（二）（マ）		編集部
69	1938	昭和13	10	15	会報	安藤理事長帰朝		
69	1938	昭和13	10	15	会報	丸山前理事長を囲む会		
69	1938	昭和13	10	15	会報	臨時代議員会召集		
69	1938	昭和13	10	15	会報	理事常務理事の合同協議会		
70	1938	昭和13	11	15	冠頭言	日本社会事業の現代的発展！（山口正著『日本社会事業の発展』の一節）		
70	1938	昭和13	11	15		社会事業法案の審議 衆議院委員会抄録（五）		編集部
70	1938	昭和13	11	15		国民健康保険法の解説（2） 新社会立法の解説（二）		編集部
70	1938	昭和13	11	15		浮浪者の生活実相		草間 八十雄
70	1938	昭和13	11	15		理事長、中・北支を視察		
70	1938	昭和13	11	15		傷痍軍人は我等の手で 機械や工具を改造してでも傷痍軍人は元の職場へ		傷兵保護院
70	1938	昭和13	11	15		北支皇軍慰問紀行（下）		鶴見 欣次郎
70	1938	昭和13	11	15		後記		
71	1938	昭和13	12	15		丸山前理事長謝恩会 全国より集る者二百名盛会を極む		
71	1938	昭和13	12	15		国民健康保険法の解説（2）（マ） 新社会立法の解説（三）		編集部
71	1938	昭和13	12	15		浮浪者の生活実相（つづき）		草間 八十雄
71	1938	昭和13	12	15	会報	十一月十七日代議員会		
71	1938	昭和13	12	15	会報	十二月十五日定例常務理事会		
71	1938	昭和13	12	15	ニュース	鶴見欣次郎氏帰朝		
71	1938	昭和13	12	15		後記		
72	1939	昭和14	1	15		事変下の社会事業		
72	1939	昭和14	1	15		聖恩洪大		加藤 咄堂
72	1939	昭和14	1	15		広瀬厚相を歓迎す		
72	1939	昭和14	1	15		中支皇軍慰問紀行（上）		鶴見 欣次郎
72	1939	昭和14	1	15		橋本中将の義挙		
72	1939	昭和14	1	15		河瀬晃昭君の戦死		
72	1939	昭和14	1	15		渡辺海旭師を偲ぶ会		
72	1939	昭和14	1	15		彙報		
72	1939	昭和14	1	15		御寄贈の出版物		
72	1939	昭和14	1	15		日誌の中より（十二月五日～一月十五日）		
72	1939	昭和14	1	15		編集後記		
73	1939	昭和14	3	15		総親和総協力の重大時期		
73	1939	昭和14	3	15		会議報告		
73	1939	昭和14	3	15		規約改正		
73	1939	昭和14	3	15		昭和十二年度決算 昭和十四年度予算 予算に就て		
73	1939	昭和14	3	15		中央改組問題と全連の態度 安藤理事長と広瀬厚相と懇談の結果 欣然一体化		
73	1939	昭和14	3	15		主事の更迭		
73	1939	昭和14	3	15		辞任の挨拶		三谷 此治
73	1939	昭和14	3	15		就任の挨拶		平野 義一
73	1939	昭和14	3	15		母子保護法一周年記念会		
73	1939	昭和14	3	15		司法保護委員		
73	1939	昭和14	3	15		人事調停法		
73	1939	昭和14	3	15		天恩無窮（救療に関するもの）		
73	1939	昭和14	3	15		随翁舜悦 私生児・棄児・愛育・大禅師		

『私設社会事業』総目次

73	1939	昭和14	3	15	中支皇軍慰問紀行（中）	鶴見 欣次郎
73	1939	昭和14	3	15	下関に社会事業研究会生る	
73	1939	昭和14	3	15	彙報	
73	1939	昭和14	3	15	日誌の中より（一月十六日～二月十一日）	
73	1939	昭和14	3	15	編集後記	
74	1939	昭和14	4	15	世界永遠の平和確立の道	
74	1939	昭和14	4	15	会議報告	
74	1939	昭和14	4	15	地方連盟 北海道連合会	
74	1939	昭和14	4	15	地方連盟 東京私設社会事業連盟総会	
74	1939	昭和14	4	15	地方連盟 京都私設連盟総会	
74	1939	昭和14	4	15	地方連盟 千葉私設連盟臨時総会	
74	1939	昭和14	4	15	今後の社会政策	大内 経雄
74	1939	昭和14	4	15	厚生省に生活課 結核課も誕生	
74	1939	昭和14	4	15	児童保護懇談会	
74	1939	昭和14	4	15	薄倖なる婦人の更生（神戸婦人同情会事業調査）	
74	1939	昭和14	4	15	天長節の意義及由来	本多 辰次郎
74	1939	昭和14	4	15	社会事業指導員 天台宗が各教区に	
74	1939	昭和14	4	15	天理教の社会事業 一挙百ヶ所の託児所を増設	
74	1939	昭和14	4	15	中支皇軍慰問紀行（下）	鶴見 欣次郎
74	1939	昭和14	4	15	東京私社連欄	
74	1939	昭和14	4	15	彙報	
74	1939	昭和14	4	15	日誌の中より（二月十四日～三月三十日）	
75	1939	昭和14	5	15	結核予防会／世界平和の道／八紘之基柱	
75	1939	昭和14	5	15	満洲留学生諸君の動静 / 蒙古留学生成績良好	
75	1939	昭和14	5	15	会議報告 四月二十日在京常務理事会	
75	1939	昭和14	5	15	会議報告 四月二十七日臨時常務理事会	
75	1939	昭和14	5	15	会議報告 五月四日在京常務理事会	
75	1939	昭和14	5	15	会議報告 地方別常務担当区域表	
75	1939	昭和14	5	15	五十周年を迎へる下関保護院 / 少年教護院落成式 広島県立	
75	1939	昭和14	5	15	日本育児院の創立四十五周年記念式典 / 郡山子守学校	
75	1939	昭和14	5	15	高松宮殿下より文庫御下賜 埼玉県石戸村堀ノ内の光栄	
75	1939	昭和14	5	15	国民精神総動員新展開の基本方針	
75	1939	昭和14	5	15	国民精神総動員運動の指導精神・筑紫理事長談	
75	1939	昭和14	5	15	静岡県の社会事業委員 / 仙台基督教教育院総会	
75	1939	昭和14	5	15	養老事業研究会	
75	1939	昭和14	5	15	天台宗社会事業連盟理事会 / アキスリング君渡米	
75	1939	昭和14	5	15	法均尼の生涯 千二百年前の育児事業を偲ぶ	三輪 政一
75	1939	昭和14	5	15	済生会々員章の御親授式	
75	1939	昭和14	5	15	秋田婦人ホーム / 鎌倉保育園	
75	1939	昭和14	5	15	東京私社連欄	
75	1939	昭和14	5	15	学生義勇軍衛生隊大陸の医療に出動	
75	1939	昭和14	5	15	日誌の中より（四月一日～十八日）	
75	1939	昭和14	5	15	編集後記	
76	1939	昭和14	6	15	社会事業精神（上）六月十四日満洲国留学生の為に	安藤 正純
76	1939	昭和14	6	15	御令旨を拝し奉りて	牛尾 甞生平
76	1939	昭和14	6	15	光明皇后様の御慈徳 尊貴の御身を以て親しく救護に御手を下し給ふ	三輪 政一
76	1939	昭和14	6	15	東京私社連欄	
76	1939	昭和14	6	15	日誌の中より（四月二十日～五月十六日）	
76	1939	昭和14	6	15	編集後記	
77	1939	昭和14	7	15	社会事業精神（下）六月十四日満洲国留学生の為に	安藤 正純

『私設社会事業』総目次

77	1939	昭和14	7	15	会議報告	六月二十二日在京常務理事会		
77	1939	昭和14	7	15	会議報告	六月二十九日在京常務理事会		
77	1939	昭和14	7	15	会議報告	七月六日定例常務理事会		
77	1939	昭和14	7	15		空床利用事業		
77	1939	昭和14	7	15		鉄眼禅師を偲ぶ 罹災救助飢民救済に血の資金を投じて惜まず		三輪 政一
77	1939	昭和14	7	15		加能実修学校		
77	1939	昭和14	7	15		松江保護会		
77	1939	昭和14	7	15		少年法施行地域拡大		
77	1939	昭和14	7	15		東京私社連欄		
77	1939	昭和14	7	15		日誌の中より（五月十九日～七月十日）		
78	1939	昭和14	9	15		時局と民間社会事業の重要責務	常務理事	長谷川 良信
78	1939	昭和14	9	15	会議報告	七月二十一日在京常務理事会		
78	1939	昭和14	9	15	会議報告	七月二十七日在京常務理事会		
78	1939	昭和14	9	15	会議報告	八月二十四日在京常務理事会		
78	1939	昭和14	9	15	会議報告	九月十一日定例常務理事会		
78	1939	昭和14	9	15	地方連盟	栃木県私設社会事業連盟		
78	1939	昭和14	9	15	地方連盟	秋田県私設社会事業座談会		
78	1939	昭和14	9	15	地方連盟	奈良県私設社会事業財務協議会		
78	1939	昭和14	9	15	地方連盟	札幌市社会事業団体協議会		
78	1939	昭和14	9	15		精神障碍児に於ける妥当なる認識と其適正なる処置 彼等に療護教養上の公平なる機会を与へよ	八幡学園長	久保寺 保久
78	1939	昭和14	9	15		中部六県私設懇談会		
78	1939	昭和14	9	15		佐世保託児所二十周年記念式		
78	1939	昭和14	9	15		前橋積善会		
78	1939	昭和14	9	15		札幌養老院		
78	1939	昭和14	9	15		築地本願寺社会部		
78	1939	昭和14	9	15		茨城県連盟		
78	1939	昭和14	9	15		至誠会病院		
78	1939	昭和14	9	15		岩波氏の義挙		
78	1939	昭和14	9	15		オールツ翁帰米		
78	1939	昭和14	9	15		安藤蕃君		
78	1939	昭和14	9	15		戦跡去来		
78	1939	昭和14	9	15		石井十次君を追憶す 偉大なる孤児の慈父		三輪 政一
78	1939	昭和14	9	15		印度の禁酒運動		
78	1939	昭和14	9	15		社会事業徒の托鉢		
78	1939	昭和14	9	15		曹洞宗社会課で紙芝居作製		
78	1939	昭和14	9	15		日誌の中より（七月十一日～八月二十二日）		
79	1939	昭和14	10	15		社会事業従業員敬擁問題		
79	1939	昭和14	10	15		社会事業職員表彰内規		
79	1939	昭和14	10	15	会議報告	九月二十一日在京常務理事会		
79	1939	昭和14	10	15	会議報告	十月二日定例常務理事会		
79	1939	昭和14	10	15	地方連盟	北海道社会事業団体連合会		
79	1939	昭和14	10	15	地方連盟	広島県私設社会事業連盟		
79	1939	昭和14	10	15	地方連盟	福岡県私設社会事業連盟		
79	1939	昭和14	10	15		東京私社連欄		
79	1939	昭和14	10	15		児童保護会議を終へて		長谷川 良信
79	1939	昭和14	10	15		皇紀二千六百年記念事業・日本基督教会		
79	1939	昭和14	10	15		皇紀二千六百年記念事業・曹洞宗		
79	1939	昭和14	10	15		皇紀二千六百年記念事業・組合教会		
79	1939	昭和14	10	15		行基菩薩 創見卓識の社会事業家		三輪 政一
79	1939	昭和14	10	15		就労青少年と厚生施設		大内 経雄
79	1939	昭和14	10	15		彙報		

『私設社会事業』総目次

79	1939	昭和14	10	15		日誌の中より（八月二十日～九月十四日）		
80	1939	昭和14	11	15		寺院境内地問題と社会事業		
80	1939	昭和14	11	15		全連より各地方連盟へ発した境内地使用問題の通牒 京都私連の緊急決議		
80	1939	昭和14	11	15		聖恩優渥・畏し両陛下から下賜金の光荣 隣邦孤児愛護会の感激		
80	1939	昭和14	11	15		皇太后陛下の御仁慈・六団体の光荣		
80	1939	昭和14	11	15	会議報告	十月二日定例事務理事会		
80	1939	昭和14	11	15	会議報告	十一月二日在京常務理事会		
80	1939	昭和14	11	15	会議報告	私設社会事業職員表彰に関する件		
80	1939	昭和14	11	15	私設懇談会	全国私設有志懇談会		
80	1939	昭和14	11	15	私設懇談会	滋賀県私設懇談会		
80	1939	昭和14	11	15	私設懇談会	京都私設役員懇談会		
80	1939	昭和14	11	15	私設懇談会	中部日本私設懇談会		
80	1939	昭和14	11	15	私設懇談会	新潟県私設役員懇談会		
80	1939	昭和14	11	15		上海の明暗相と社会事業		高木 武三郎
80	1939	昭和14	11	15		隣保協同体と社会事業（上）		福岡 文芳
80	1939	昭和14	11	15		白川楽翁公の偉業 社会事業精神に満ちた政治家		三輪 政一
80	1939	昭和14	11	15		キリストの遺跡 青森県戸来村の話（上）		鶴見 欣次郎
80	1939	昭和14	11	15		彙報		
80	1939	昭和14	11	15		日誌の中より（九月十六日～十月二十二日）		
81	1939	昭和14	12	15		昭和十四年を送る		
81	1939	昭和14	12	15		私設社会事業従業員恩給財団設立確定 私設社会事業従業員恩給財団設立要綱		
81	1939	昭和14	12	15	会議報告	十一月十六日在京常務理事会		
81	1939	昭和14	12	15	会議報告	十一月二十一日定例常務理事会		
81	1939	昭和14	12	15	会議報告	十一月二十一日厚生省関係懇談会		
81	1939	昭和14	12	15	会議報告	十一月二十一日臨時常務理事会		
81	1939	昭和14	12	15	地方連盟	滋賀県私設社会事業連盟		
81	1939	昭和14	12	15	地方連盟	埼玉県私設社会事業連盟		
81	1939	昭和14	12	15	地方連盟	新潟県私設社会事業連盟		
81	1939	昭和14	12	15		東京私社連欄		
81	1939	昭和14	12	15		第九回全国社会事業大会		
81	1939	昭和14	12	15		海外渡航助成会十周年式		
81	1939	昭和14	12	15		隣保協同体と社会事業（下）		福岡 文芳
81	1939	昭和14	12	15		養老事業実務者の態度		西脇 芳郎
81	1939	昭和14	12	15		国民精神総動員運動実行方針・昭和十五年度		
81	1939	昭和14	12	15		雄略天皇の御慈愛心 小子部栖軽の孤児院		三輪 政一
81	1939	昭和14	12	15		服部報公会補助金十四年度受領団体		
81	1939	昭和14	12	15		真宗の信仰に燃え天刑病の看護に 松島嬢が愛生園へ		
81	1939	昭和14	12	15		キリストの遺跡 青森県戸来村の話（下）		鶴見 欣次郎
81	1939	昭和14	12	15		米と炭の確保運動		
81	1939	昭和14	12	15		彙報		
81	1939	昭和14	12	15		日誌の中より（十月二十四日～十二月十五日）		
82	1940	昭和15	1	15		迎年の辞		
82	1940	昭和15	1	15		聖恩鴻大 私設社会事業に御下賜金		
82	1940	昭和15	1	15	会議報告	十二月十四日在京常務理事会		
82	1940	昭和15	1	15	会議報告	一月十日定例常務理事会		
82	1940	昭和15	1	15		寺院境内地問題に関する陳情		
82	1940	昭和15	1	15		境内地還付の勅令		
82	1940	昭和15	1	15		紀元二千六百年記念 本院の植林事業		輿水 伊代吉
82	1940	昭和15	1	15		傑僧渡辺海旭先生を追慕す 社会事業界の画期的指導者		三輪 政一
82	1940	昭和15	1	15		道祖神が基督の聖者だった話		
82	1940	昭和15	1	15		御寄贈の出版物		

『私設社会事業』総目次

82	1940	昭和15	1	15	東京私社連欄		
82	1940	昭和15	1	15	日誌の中より（十二月十六日～十二月二十八日）		
83	1940	昭和15	2	15	大詔を拝して		
83	1940	昭和15	2	15	畏し紀元の佳節に時艱克服の大詔渙発 内閣恐懼告諭を發す		華城
83	1940	昭和15	2	15	帝国の前途多難 首相の奉祝演説 聖戦前衛の使命達成 西尾総司令官謹話		
83	1940	昭和15	2	15	社会厚生事業は情に在て理にあらず		木山 十彰
83	1940	昭和15	2	15	亡母追善寄付の言葉		横田 忠郎
83	1940	昭和15	2	15	皇紀二千六百年記念大会開催 全連理事・代議員会 職員表彰の件 / 慶福会の助成金		
83	1940	昭和15	2	15	天恩無窮 私設社会事業に御下賜金・木炭二千俵下賜・御下賜金伝達式		
83	1940	昭和15	2	15	会議報告 一月十六日関西常務理事会		
83	1940	昭和15	2	15	会議報告 二月三日定例常務理事会		
83	1940	昭和15	2	15	地方連盟 京都私設社会事業連盟役員会		
83	1940	昭和15	2	15	地方連盟 福岡私設社会事業連盟例会		
83	1940	昭和15	2	15	地方連盟 北海道社会事業団体活動		
83	1940	昭和15	2	15	地方連盟 東京私設社会事業連盟		
83	1940	昭和15	2	15	地方連盟 千葉県私設社会事業連盟総会		
83	1940	昭和15	2	15	地方連盟 茨城県社会事業連合会新企画		
83	1940	昭和15	2	15	東京私社連欄		
83	1940	昭和15	2	15	事変処理と三民主義 今議会に於ける安藤理事長の論陣		安藤 正純
83	1940	昭和15	2	15	小川滋次郎博士を偲ぶ 温情溢れた社会事業指導者		三輪 政一
83	1940	昭和15	2	15	静岡大火罹災報告 静岡大火へ慰問品・松戸保育園長の義挙		
83	1940	昭和15	2	15	話道托鉢札幌紀行		鶴見 欣次郎
83	1940	昭和15	2	15	救癩“一万床”達成 前途遼遠の観・長島愛生園長は語る / 総持寺の記念事業		
83	1940	昭和15	2	15	夜間看護婦養成所 京都施薬院で開校 / カード階級の仏事を無料で 京都仏法会決定		
83	1940	昭和15	2	15	動静		
83	1940	昭和15	2	15	日誌の中より（一月一日～二月十一日）		
83	1940	昭和15	2	15	編集日記		
84	1940	昭和15	4	15	支那国民政府の成立・徳政の意義・社会事業徒の責務		
84	1940	昭和15	4	15	紀元二千六百年記念全国私設社会事業大会 新緑の西都を飾る大絵巻		
84	1940	昭和15	4	15	会議報告 二月十四日正午在京常務理事会		
84	1940	昭和15	4	15	会議報告 二月十四日午後在京常務理事会		
84	1940	昭和15	4	15	会議報告 二月十七日在京常務理事会		
84	1940	昭和15	4	15	会議報告 二月十九日関西常務理事会		
84	1940	昭和15	4	15	会議報告 二月二十三日在京常務理事会		
84	1940	昭和15	4	15	会議報告 二月二十八日緊急常務理事会		
84	1940	昭和15	4	15	会議報告 三月七日定例常務理事会		
84	1940	昭和15	4	15	会議報告 三月二十七日在京常務理事会		
84	1940	昭和15	4	15	会議報告 三月三十日緊急常務理事会		
84	1940	昭和15	4	15	会議報告 四月二日関西常務理事会		
84	1940	昭和15	4	15	会議報告 四月五日在京常務理事会		
84	1940	昭和15	4	15	私設社会事業雑感		藪 季光
84	1940	昭和15	4	15	私設社会事業の特性		木山 十彰
84	1940	昭和15	4	15	社会保健婦大会		
84	1940	昭和15	4	15	光栄の十団体 青山御所旧建物の下附先決定		
84	1940	昭和15	4	15	了翁禪師の聖業 幼時の悲惨さを忘れなかった高德		三輪 政一
84	1940	昭和15	4	15	地方連盟 東京私設社会事業連盟活動		
84	1940	昭和15	4	15	地方連盟 京都私設社会事業連盟役員会		
84	1940	昭和15	4	15	地方連盟 大阪社会事業協会役員神宮参拝		
84	1940	昭和15	4	15	地方連盟 地方連盟会費納入		
84	1940	昭和15	4	15	追悼の辞		安藤 正純
84	1940	昭和15	4	15	武田君の死を悼む	常務理事	松岡 良友

『私設社会事業』総目次

84	1940	昭和15	4	15	故武田慎治郎翁を偲ぶ		大谷 繁次郎
84	1940	昭和15	4	15	山室軍平氏救世軍葬		
84	1940	昭和15	4	15	日誌の中より（二月十三日～三月七日）		
85	1940	昭和15	5	15	紀元二千六百年記念全国私設社会事業大会		
85	1940	昭和15	5	15	大会記録 宣言 決議 委員長報告要旨		
85	1940	昭和15	5	15	大会を顧みて		河東田 教美
85	1940	昭和15	5	15	会議報告		
85	1940	昭和15	5	15	日誌の中より（四月十七日～五月十四日）		
86	1940	昭和15	6	15	南進の雄図		華城
86	1940	昭和15	6	15	大会決議事項処理報告（京都市で開催の紀元二千六百年記念全国大会）		
86	1940	昭和15	6	15	大会費決算に付て		
86	1940	昭和15	6	15	常任幹事決定 浅草寺病院長大森公亮氏		
86	1940	昭和15	6	15	会議報告 五月二十八日定例常務理事会		
86	1940	昭和15	6	15	会議報告 五月二十九日常務理事懇談会		
86	1940	昭和15	6	15	会議報告 六月七日在京常務懇談会		
86	1940	昭和15	6	15	彙報 神戸孤児院満五十年記念式		
86	1940	昭和15	6	15	彙報 船井郡仏教団岡田主事		
86	1940	昭和15	6	15	彙報 明照社会館（東京深川）焼失		
86	1940	昭和15	6	15	彙報 日本少年指導会長大森亮順氏に		
86	1940	昭和15	6	15	彙報 子供の家（愛知県）創立二十年式典		
86	1940	昭和15	6	15	彙報 福田会（東京）創立六十五年		
86	1940	昭和15	6	15	彙報 日蓮宗慈済会（東京）落成		
86	1940	昭和15	6	15	彙報 全国方面委員大会		
86	1940	昭和15	6	15	全国社会事業大会（今秋東京で開催）		
86	1940	昭和15	6	15	経済と社会問題		黒正 巖
86	1940	昭和15	6	15	司法保護事業に関し厚生司法当局に要望す		松岡 良友
86	1940	昭和15	6	15	大会雑記 京都		高橋 重蔵
86	1940	昭和15	6	15	陸軍病院慰問の会		
86	1940	昭和15	6	15	母子寮を大陸に 大連西別院で開設		
86	1940	昭和15	6	15	本派司法保護協会発会式		
86	1940	昭和15	6	15	東京府社会事業大会（七月十日に開催）		
86	1940	昭和15	6	15	年金組合に就て 特に既往勤続年数加算方法		
86	1940	昭和15	6	15	地方連盟 大阪府私設連盟名称変更		
86	1940	昭和15	6	15	地方連盟 京都私設連盟の活動		
86	1940	昭和15	6	15	地方連盟 朝鮮私設連盟の事業		
86	1940	昭和15	6	15	遺族を保姆に 愛育会の講習		
86	1940	昭和15	6	15	内鮮融和へ 茨城県協和会誕生		
86	1940	昭和15	6	15	武田翁の遺事		
86	1940	昭和15	6	15	話道托鉢鳴々だより		鶴見 欣次郎
86	1940	昭和15	6	15	日誌の中より（五月十五日～五月三十日）		
87	1940	昭和15	7	15	中央社会事業委員会 第一回会合開催		
87	1940	昭和15	7	15	時局下私設社会事業の強化充実の急務と其調査		
87	1940	昭和15	7	15	二十万円御寄贈 満洲国皇帝陛下		
87	1940	昭和15	7	15	会議報告 六月二十日定例常務理事会		
87	1940	昭和15	7	15	会議報告 六月二十日継続委員会		
87	1940	昭和15	7	15	東亜新秩序の文化的使命		安藤 正純
87	1940	昭和15	7	15	東京府社会事業大会 有意義且つ盛大に		
87	1940	昭和15	7	15	東京私社連欄		
87	1940	昭和15	7	15	紀元二千六百年記念 東京府社会事業大会に於ける祝辞		安藤 正純
87	1940	昭和15	7	15	大会費精算書 感謝録		
87	1940	昭和15	7	15	生活刷新の巨弾		

『私設社会事業』総目次

87	1940	昭和15	7	15		私設事業中堅幹部練成会 菊薫る九月下旬東都に開催		
87	1940	昭和15	7	15		彙報		
87	1940	昭和15	7	15		日誌 (五月三十一日～六月十三日)		
88	1940	昭和15	8	15		社会事業恒久財源の確立と資金法制定の要望	全日本私設社会事業連盟常任参与	三輪 政一
88	1940	昭和15	8	15	会議報告	七月二十八日定例常務理事会		
88	1940	昭和15	8	15	会議報告	継続委員小委員会		
88	1940	昭和15	8	15	会議報告	時局社会事業審議会		
88	1940	昭和15	8	15		軍事援護関係懇談会		
88	1940	昭和15	8	15		日満支連盟結成の件		
88	1940	昭和15	8	15		新体制と社会事業人		高木 武三郎
88	1940	昭和15	8	15		紀元節の詔書写及詔書衍義頒布		
88	1940	昭和15	8	15		時局審議会要綱		
88	1940	昭和15	8	15		社会局長異動		
88	1940	昭和15	8	15		両大臣諮問事項 (紀元二千六百年記念全国社会事業大会)		
88	1940	昭和15	8	15		原田二郎翁の人格 積善会は如何にして出来たか		(華城)三輪 政一
88	1940	昭和15	8	15		中堅幹部練成会		
88	1940	昭和15	8	15		話道托鉢鳴々だより		鶴見 欣次郎
88	1940	昭和15	8	15		日誌の中より (七月十五日～七月二十日)		
89	1940	昭和15	10	15		速かに無医村なからしめよ		
89	1940	昭和15	10	15		全日本私設社会事業連盟に望む		五十嵐 喜広
89	1940	昭和15	10	15		地方連絡事業		
89	1940	昭和15	10	15	会議報告	八月二十二日在京常務理事会		
89	1940	昭和15	10	15	会議報告	九月二日定例常務理事会		
89	1940	昭和15	10	15	会議報告	在京常務理事懇談会		
89	1940	昭和15	10	15	会議報告	継続委員会小委員会		
89	1940	昭和15	10	15		私設社会事業経営状況 全日本私設社会事業連盟調査部調査		
89	1940	昭和15	10	15		佐伯祐正氏常務理事に就任		
89	1940	昭和15	10	15		社会事業功労章受領者 (本連盟関係) 厚生大臣表彰		
89	1940	昭和15	10	15		福岡私設連盟 東京女高師の及川女史を迎えて手技講習会の開催		
89	1940	昭和15	10	15		彙報		
89	1940	昭和15	10	15		日誌の中より (七月二十一日～十月十二日)		
90	1940	昭和15	11	15		曠古の式典に参列して		三輪 政一
90	1940	昭和15	11	15	令旨	奉答辞		
90	1940	昭和15	11	15		全国社会事業大会宣言・決議		
90	1940	昭和15	11	15		紀元二千六百年式典に際し榮譽に輝く人々		
90	1940	昭和15	11	15		地方振興委員内規・本連盟		
90	1940	昭和15	11	15	会議報告	九月二十二日緊急常務理事会		
90	1940	昭和15	11	15	会議報告	十月七日在京常務理事会		
90	1940	昭和15	11	15	会議報告	十月九日定例常務理事会		
90	1940	昭和15	11	15	会議報告	十月二十八日在京常務理事会		
90	1940	昭和15	11	15		私設社会事業運営指針		
90	1940	昭和15	11	15		聖恩感泣 私設社会事業に畏き御下賜金 金光厚相謹話		
90	1940	昭和15	11	15		皇太后陛下の御仁慈 救癩団体に		
90	1940	昭和15	11	15	私設懇談会	中堅幹部練成会 盛会裡に終了、同窓四十二名		
90	1940	昭和15	11	15		秋田音頭の実際化		鶴見 欣次郎
90	1940	昭和15	11	15		彙報		
90	1940	昭和15	11	15		日誌の中より (十月十六日～十一月十三日)		
91	1940	昭和15	12	15		佳き歳を送る		高木 武三郎
91	1940	昭和15	12	15		天恩無窮・御仁慈の木炭 各歳末診療所へ御下賜		
91	1940	昭和15	12	15	会議報告	十一月二十七日社会事業懇談会		

『私設社会事業』総目次

91	1940	昭和15	12	15	会議報告	十二月九日定例常務理事会		
91	1940	昭和15	12	15	会議報告	十二月九日臨時監事会		
91	1940	昭和15	12	15	会議報告	継続委員会小委員会		
91	1940	昭和15	12	15	地方連盟	東京私設社事連盟		
91	1940	昭和15	12	15	地方連盟	大阪府私設社事連盟		
91	1940	昭和15	12	15	地方連盟	愛知県私設連盟		
91	1940	昭和15	12	15	地方連盟	徳島県私設連盟		
91	1940	昭和15	12	15		子宝家庭へ育英資金		
91	1940	昭和15	12	15		七里浜療養所落成		
91	1940	昭和15	12	15		司法省に保健局新設 初代局長は森山博士		
91	1940	昭和15	12	15		少年工の教養指導も計画保護局の新規事業		
91	1940	昭和15	12	15		政府明年度予算内定 厚生省予算一億八千万円		
91	1940	昭和15	12	15		巷に見る生活世相 庶民金庫から覗く		
91	1940	昭和15	12	15		『個人』より『家』の尊重へ 法制大審議機関を設置		
91	1940	昭和15	12	15		片山国嘉博士を追慕す 徹底せる『酒害予防運動』者		(華城)三輪 政一
91	1940	昭和15	12	15		私設社会事業大会決議事項処理		
91	1940	昭和15	12	15		神山復生病院長永眠		
91	1940	昭和15	12	15		彙報		
91	1940	昭和15	12	15		日誌の中より (十一月十六日～十二月六日)		
92	1941	昭和16	1	15		社会事業統制に付て		
92	1941	昭和16	1	15	会議報告	十二月三十日在京常務懇談会		
92	1941	昭和16	1	15	会議報告	一月十一日在京常務理事会		
92	1941	昭和16	1	15		『教師懇談会』の成立 札幌遠友夜学校		
92	1941	昭和16	1	15		新体制と札幌遠友夜学校		高倉 新一郎
92	1941	昭和16	1	15		悦びの集い 札幌報恩学園		
92	1941	昭和16	1	15		浅草会館増築竣工		
92	1941	昭和16	1	15		理事長消息		
92	1941	昭和16	1	15		産業報国運動と厚生事業		広崎 真八郎
92	1941	昭和16	1	15		三浦梅園の隣人愛 学ぶべき隣組精神		三輪 政一
92	1941	昭和16	1	15		戦死者遺族指導要綱		軍事保護院援護局
92	1941	昭和16	1	15		老将軍の気焰 日本少年指導会の父		
92	1941	昭和16	1	15		日誌の中より (十二月十六日～一月十三日)		
93	1941	昭和16	2	15		妊娠届出制度の提唱		
93	1941	昭和16	2	15	会議報告	一月十八日定例常務理事会		
93	1941	昭和16	2	15	会議報告	時局社会事業審議会総会		
93	1941	昭和16	2	15	会議報告	一月二十五日在京常務理事会		
93	1941	昭和16	2	15	会議報告	二月十三日定例常務理事会		
93	1941	昭和16	2	15	会議報告	二月十三日私設医療保護事業者懇談会		
93	1941	昭和16	2	15		慶福会の助成金と奨励年金並に選奨		
93	1941	昭和16	2	15		全国私設社会事業協議大会開催計画		
93	1941	昭和16	2	15		幹部及女子従業員錬成会開催計画		
93	1941	昭和16	2	15		医療保護事業連絡委員会設置		
93	1941	昭和16	2	15		医療保護法案・厚生大臣の提案理由説明 伊藤議員との問答 医療保護法案		
93	1941	昭和16	2	15		社会事業の新方策に関する調査		
93	1941	昭和16	2	15		私設社会事業財源確立方策		
93	1941	昭和16	2	15		全財産を寄付 ライト女史の美挙		
93	1941	昭和16	2	15		第二回保健婦大会		
93	1941	昭和16	2	15		日本育児院 樺太支部設立計画		
93	1941	昭和16	2	15		栄転交々		
93	1941	昭和16	2	15		三重済美学院長能真海氏		
93	1941	昭和16	2	15		日誌の中より (一月十六日～二月十三日)		

『私設社会事業』総目次

94	1941	昭和16	3	15	対支社会事業に就て		華城
94	1941	昭和16	3	15	全国協議大会予告（大会要綱決定）		
94	1941	昭和16	3	15	全国私設医療保護事業連絡委員会内規 委員名簿		
94	1941	昭和16	3	15	京都仏眼協会法人認可		
94	1941	昭和16	3	15	身延保育園（山梨）新設		
94	1941	昭和16	3	15	信愛保育園（京都）母子の家		
94	1941	昭和16	3	15	愛隣学園（朝鮮）法人運動		
94	1941	昭和16	3	15	金剛山麓（朝鮮）に養老院		
94	1941	昭和16	3	15	慈光学園（東京南千住）託児部新設		
94	1941	昭和16	3	15	八幡学園（千葉県）移転		
94	1941	昭和16	3	15	四天王寺悲田院（大阪市）育児事業開始		
94	1941	昭和16	3	15	興風会館（千葉県）の事業		
94	1941	昭和16	3	15	感謝録（原田積善会から補助金受領）		
94	1941	昭和16	3	15	中央保健婦錬成所発会式		
94	1941	昭和16	3	15	会議報告 二月二十四日在京常務理事会		
94	1941	昭和16	3	15	会議報告 三月七日定例常務理事会		
94	1941	昭和16	3	15	会議報告 二月二十日会計事務連絡懇談		
94	1941	昭和16	3	15	人的資源と妊娠の摂生		細野 尚是
94	1941	昭和16	3	15	社会事業の旅	光徳寺善隣館長	佐伯 祐正
94	1941	昭和16	3	15	科学振興特に精神科学に一投石	東京私設社事連盟理事長	橋本勝太郎
94	1941	昭和16	3	15	全国に延びる少年審判所 更に仙台札幌にも設置		
94	1941	昭和16	3	15	厚生省に人口局を新設 人口国策二十年計画		
94	1941	昭和16	3	15	父と子		綿貫 哲雄
94	1941	昭和16	3	15	女子と社会事業		
94	1941	昭和16	3	15	年金組合加入六百人 待遇改善問題を示唆		
94	1941	昭和16	3	15	山室軍平氏一周年会		
94	1941	昭和16	3	15	日誌の中より（三月二日～三月十二日）		
94	1941	昭和16	3	15	編集後記		
95	1941	昭和16	4	15	人口問題の将来と吾徒の分野		華城
95	1941	昭和16	4	15	全国協議大会準備進捗		
95	1941	昭和16	4	15	会議報告 三月二十八日定例常務理事会		
95	1941	昭和16	4	15	中華社会事業協会設立さる		
95	1941	昭和16	4	15	『社会事業ノ新方策ニ関スル調査』について		
95	1941	昭和16	4	15	満洲社会事業協会が会名変更 関東洲社会事業協会に		
95	1941	昭和16	4	15	中部日本社会事業連盟協議会 岐阜市で開催		
95	1941	昭和16	4	15	大阪私設連幹部会		
95	1941	昭和16	4	15	高田慈光院（三重県）創立二十周年式		
95	1941	昭和16	4	15	相愛会館（東京本所）の解散		
95	1941	昭和16	4	15	独逸に於ける精神薄弱児童養護施設 トリウペル治療教育院に就て	カルナ学園主事	林 蘇東
95	1941	昭和16	4	15	京都施薬院協会創立四十五年式		
95	1941	昭和16	4	15	得藤花保育園（滋賀県）新設		
95	1941	昭和16	4	15	岡田寒泉の人口政策 百五十年前の多子家庭奨励		(華城)三輪 政一
95	1941	昭和16	4	15	連絡奉公 北海漫語		鶴見 欣次郎
95	1941	昭和16	4	15	医療保護法に関する件陳情		
95	1941	昭和16	4	15	平安養育院（京都市）全焼		
95	1941	昭和16	4	15	訃報・二葉学院長（東京金町）二葉嘉太郎氏死去		
95	1941	昭和16	4	15	日誌の中より（三月二十八日～四月十五日）		
96	1941	昭和16	5	15	中華社会事業の進展と吾等の責務		
96	1941	昭和16	5	15	会議報告 四月十八日定例常務理事会		
96	1941	昭和16	5	15	会議報告 五月十五日定例常務理事会		
96	1941	昭和16	5	15	安藤理事長殆ど恢復 / 私設社会事業女子従事員錬成会予告		
96	1941	昭和16	5	15	国民強健化と性病対策		乃木 惇
96	1941	昭和16	5	15	関東社会事業連盟 水戸で第一回大会		

『私設社会事業』総目次

96	1941	昭和16	5	15	方面委員全国大会 山口県宇部市		
96	1941	昭和16	5	15	聖徳太子奉讃無料診療 上宮教会で		
96	1941	昭和16	5	15	茨城県私設社会事業連盟 結核保養所建設計画		
96	1941	昭和16	5	15	北海道社会事業連合会の府県視察		
96	1941	昭和16	5	15	北海道庁の季節保育所 創設費補助要綱決定		
96	1941	昭和16	5	15	中華駐日大使社会事業病院を視る / 時局下の少年保護記念日		
96	1941	昭和16	5	15	転失業者と社会事業		津戸 徳治
96	1941	昭和16	5	15	第十五回全国児童愛護運動		
96	1941	昭和16	5	15	青少年防犯懇談会 社会事業徒へ示唆の数々		
96	1941	昭和16	5	15	静岡県下社会事業関係協議打合せ / 尾道慈善会 結核救済事業へ		
96	1941	昭和16	5	15	済生会三十週年記念式典		
96	1941	昭和16	5	15	日誌の中より (四月十八日~五月十四日)		
97	1941	昭和16	6	15	第七回全国私設社会事業協議大会 式典・宣誓		
97	1941	昭和16	6	15	式辞		安藤 正純
97	1941	昭和16	6	15	挨拶	厚生大臣	金光 康夫
97	1941	昭和16	6	15	大会議事録		
97	1941	昭和16	6	15	大会一瞥		
97	1941	昭和16	6	15	昭和十四年度決算 昭和十六年度予算		
97	1941	昭和16	6	15	会議報告 五月十五日定例常務理事会		
97	1941	昭和16	6	15	会議報告 五月二十一日東京常務理事会		
97	1941	昭和16	6	15	会議報告 理事監事会		
97	1941	昭和16	6	15	会議報告 代議員会		
97	1941	昭和16	6	15	会議報告 五月二十三日臨時常務理事会		
97	1941	昭和16	6	15	新加盟団体を歓迎す		
97	1941	昭和16	6	15	第五回満洲国社会事業研究生来る		
97	1941	昭和16	6	15	本連盟の夏季事業		
97	1941	昭和16	6	15	「優生結婚法」制定準備		
97	1941	昭和16	6	15	日誌の中より (五月十五日~六月十三日)		
98	1941	昭和16	7	15	私設社会事業女子従事員錬成会 聖地日光山に於て五十二名の参加		
98	1941	昭和16	7	15	錬成会へ参加しての感想		千葉 千代
98	1941	昭和16	7	15	錬成会所感		大岡 愛子
98	1941	昭和16	7	15	「女子錬成会」後記		
98	1941	昭和16	7	15	会議報告 六月十六日定例常務理事会		
98	1941	昭和16	7	15	事変下に於ける不良少年の激増はどうすれば良いか		橋本 勝太郎
98	1941	昭和16	7	15	私設社会事業振興委員会及私設社会事業財源委員会設置要綱決定す		
98	1941	昭和16	7	15	私設社会事業信念高揚錬成会計画		
98	1941	昭和16	7	15	厚生省社会局関係と全連との懇談会開催 六月十六日丸ノ内会館で		
98	1941	昭和16	7	15	厚生省社会局を生活局と改称		
98	1941	昭和16	7	15	新加盟団体を歓迎		
98	1941	昭和16	7	15	消息		
98	1941	昭和16	7	15	社会事業普及日		
98	1941	昭和16	7	15	北海道社会事業団体連合会総会並職員大会		
98	1941	昭和16	7	15	自立会の盆法要		
98	1941	昭和16	7	15	常務理事長谷川良信君よりの便り		
98	1941	昭和16	7	15	日誌の中より (六月十一日~七月八日)		
99	1941	昭和16	8	15	「医療保護法施行令」公布さる		
99	1941	昭和16	8	15	私設医療保護連絡委員会質疑概要 (厚生省関係官との質疑)		
99	1941	昭和16	8	15	会議報告 七月十七日定例常務理事会		
99	1941	昭和16	8	15	会議報告 八月十四日緊急理事会		
99	1941	昭和16	8	15	社会事業と連絡		早崎 八洲
99	1941	昭和16	8	15	第四回私設医療保護連絡委員会 (八月十四日)		

『私設社会事業』総目次

99	1941	昭和16	8	15		国民優生法の施行について（国民優生資料第二号）		
99	1941	昭和16	8	15		第二回女子従業員錬成会計画 本連盟主催（十月二、三、四日）		
99	1941	昭和16	8	15		第五回満洲国社会事業研究生帰途につく		
99	1941	昭和16	8	15		上宮教会（東京）主催夏季心身鍛錬会		
99	1941	昭和16	8	15		南京より長谷川良信氏の便り		
99	1941	昭和16	8	15		厚生省人口局・生活局官制実施（八月一日公布）		
99	1941	昭和16	8	15		錬成余談 日光往来		鶴見 欣次郎
99	1941	昭和16	8	15	名称変更	弘済会→大阪市弘潤会		
99	1941	昭和16	8	15	名称変更	和光託児園→赤崎隣保館（鳥取県）		
99	1941	昭和16	8	15	名称変更	和楽託児所→和楽保育園（新潟県）		
99	1941	昭和16	8	15		秋田観音講の住宅施設		
99	1941	昭和16	8	15		消息（大阪府私設社会事業連盟の移転）		
99	1941	昭和16	8	15		日誌の中より（七月三日～八月十三日）		
100	1941	昭和16	9	15		第二回私設社会事業女子錬成会		
100	1941	昭和16	9	15		再編成時代 私設の役割		松尾 純雄
100	1941	昭和16	9	15		社会事業の新構想		林 文雄
100	1941	昭和16	9	15		関西女子従事員錬成会 指導員よりの願ひとたわごと		古田 誠一郎
100	1941	昭和16	9	15	会議報告	九月十一日定例常務理事会		
100	1941	昭和16	9	15		神奈川県下に於ける私設社会事業の財源に関する調査（中間報告） 神奈川県私設社会事業懇話会		
100	1941	昭和16	9	15		『少年保護』を中心とする応用心理学会を聴く		松下 余市
100	1941	昭和16	9	15		司法保護記念日 九月十三日盛大に挙る		
100	1941	昭和16	9	15		第三回「眼の記念日」 九月十八日実施		
100	1941	昭和16	9	15		秋季乳幼児審査会開かる		
100	1941	昭和16	9	15		思ふまゝ		浜田 光雄
100	1941	昭和16	9	15		東京私設連盟主催医療保護事業有志懇談会 医療保護法の徹底普及を意図し		
100	1941	昭和16	9	15		第一回社会事業研究発表会		
100	1941	昭和16	9	15		満洲留学生無事帰還		
100	1941	昭和16	9	15		日誌の中より（八月十六日～九月十三日）		
101	1941	昭和16	10	15		社会事業の統合問題に就て		三輪 政一
101	1941	昭和16	10	15	会議報告	九月二十七日在京常務理事会		
101	1941	昭和16	10	15	会議報告	十月二日定例常務理事会		
101	1941	昭和16	10	15		第二回私設社会事業女子従事員錬成会概況 生駒山青少年鍛錬道場に於て		
101	1941	昭和16	10	15		女子錬成会指導員後記二題 錬成会を省みて		脇田 悦三
101	1941	昭和16	10	15		女子錬成会指導員後記二題 錬成会に臨んで		武田 清子
101	1941	昭和16	10	15		女子錬成会参加者感想抄録 錬成されたよろこび		芳水 暢子
101	1941	昭和16	10	15		女子錬成会参加者感想抄録 感想		佚名氏
101	1941	昭和16	10	15		女子錬成会参加者感想抄録 所感		島 文子
101	1941	昭和16	10	15		社会事業研究会を観る		高木 武三郎
101	1941	昭和16	10	15		生駒山錬成会不行の記		鶴見 欣次郎
101	1941	昭和16	10	15		風呂屋の元祖重源 司法保護の大先覚		(華城)三輪 政一
101	1941	昭和16	10	15		第六回岐阜県私設社会事業連盟総会		
101	1941	昭和16	10	15		高崎樹徳学校の新規事業 日の丸保育園開く		
101	1941	昭和16	10	15		朝鮮私設社会事業連盟 時局大会開催さる		
101	1941	昭和16	10	15		東西とびある記		ひらの生
101	1941	昭和16	10	15		編集子へ一言		
101	1941	昭和16	10	15		日誌の中より（九月十五日～十月十五日）		
102	1941	昭和16	11	15		決意を望む		華城
102	1941	昭和16	11	15		社会事業中枢機関統合問題に関して 本連盟の動向活潑ならんとす（厚生省生活局局长・課長との対談）		
102	1941	昭和16	11	15		聖恩感泣・皇太后陛下救癩事業に御仁慈 光榮に輝く私立四療養所		

『私設社会事業』総目次

102	1941	昭和16	11	15	全連の回顧と展望		長谷川 良信
102	1941	昭和16	11	15	会議報告 十月二十九日在京常務理事会		
102	1941	昭和16	11	15	厚生省と社会事業		平野 草生
102	1941	昭和16	11	15	瓜生岩子の廃品回収運動 本月二十九日の東北六県向けラヂオ放送の概意		(華城)三輪 政一
102	1941	昭和16	11	15	中央優生審査会第一回総会		
102	1941	昭和16	11	15	人口問題協議会		
102	1941	昭和16	11	15	結核予防の陣頭へ(結核予防会の看護婦養成所)		
102	1941	昭和16	11	15	生活へ学界の援軍 日本生活科学会近く誕生す		
102	1941	昭和16	11	15	医療新体制来議会議案 小泉厚相答弁		
102	1941	昭和16	11	15	桜ヶ丘保養院(東京方面事業協会)開院式 方面委員醸金の結晶		
102	1941	昭和16	11	15	戦死者の遺児 養育に親心(北海道庁)		
102	1941	昭和16	11	15	天語風声		華城
102	1941	昭和16	11	15	東京府で保姆養成機関を開設		
102	1941	昭和16	11	15	総持寺(曹洞宗大本山)で母子寮		
102	1941	昭和16	11	15	大阪仏教和衷会創立三十周年記念会		
102	1941	昭和16	11	15	猿江善隣館(東京深川)十一周年記念式		
102	1941	昭和16	11	15	施無畏・カルナ両学園(東京浅草寺)学芸会		
102	1941	昭和16	11	15	巣鴨女子商業(東京)十周年記念催し		
102	1941	昭和16	11	15	大日本仏教青年会連盟大会開催		
102	1941	昭和16	11	15	時局栄養講習会(厚生省)		
102	1941	昭和16	11	15	母性保護会の妊産婦診療		
102	1941	昭和16	11	15	同志社大学厚生館開館式		
102	1941	昭和16	11	15	福岡少年院落成		
102	1941	昭和16	11	15	訃報・小樽育成院長輿水伊代吉氏		
102	1941	昭和16	11	15	日誌の中より(十月十六日~十一月十三日)		
103	1941	昭和16	12	15	米英に対し宣戦布告		
103	1941	昭和16	12	15	詔書		
103	1941	昭和16	12	15	勅語		
103	1941	昭和16	12	15	香港総督に開城を勧告		
103	1941	昭和16	12	15	大東亜戦争と社会事業徒の覚悟		華城
103	1941	昭和16	12	15	昭和十六年の社会事業界の回顧	仙台基督教教育院	大坂 鷹司
103	1941	昭和16	12	15	驚異的大戦果		
103	1941	昭和16	12	15	京都府私設社会事業連盟		
103	1941	昭和16	12	15	昭和十六年の業界を顧みて	埼玉育児院	河東田 教美
103	1941	昭和16	12	15	会議報告 十一月二十四日定例常務理事会		
103	1941	昭和16	12	15	『母性保護会』設立さる 人的資源確保の為に全国婦人科医の臨戦体制		
103	1941	昭和16	12	15	農村隣保施設の拡充 厚生省各府県へ補助金		
103	1941	昭和16	12	15	三田学園々長名義変更		
103	1941	昭和16	12	15	新加盟団体紹介		
103	1941	昭和16	12	15	良書紹介 『医療保護法解説』出版 厚生事務官岡村周美著		
103	1941	昭和16	12	15	昭和十六年度『私設社会事業』主要記事		
103	1941	昭和16	12	15	日誌の中より(十一月十四日~十二月四日)		
104	1942	昭和17	1	15	医療法案要綱		
104	1942	昭和17	1	15	注目を要する医療法案に就て 国民医療の面的改革案		
104	1942	昭和17	1	15	洽し大御心 優良社会事業三十団体に御下賜金		
104	1942	昭和17	1	15	戦時災害保護法案 非常時の備へ		
104	1942	昭和17	1	15	社会事業界の回顧と展望		姫井 芳堂
104	1942	昭和17	1	15	新年頌		安藤 正純
104	1942	昭和17	1	15	大谷繁次郎氏「健康の里」を主宰		
104	1942	昭和17	1	15	大詔奉戴 厚生事業報国会準備協議会の経過		
104	1942	昭和17	1	15	新春漫語		高木 武三郎
104	1942	昭和17	1	15	社会事業徒千五百名の大行進 十二月二十四日		
104	1942	昭和17	1	15	馬蹄鉄幸運物語		鶴見 欣次郎

『私設社会事業』総目次

104	1942	昭和17	1	15		青少年救護運動の展開 大日本青少年団起つ		
104	1942	昭和17	1	15	良書紹介	大正大学社会事業研究室編『東北社会事業と石川翁』		
104	1942	昭和17	1	15		会議報告		
104	1942	昭和17	1	15		新加盟団体紹介		
104	1942	昭和17	1	15		日誌の中より（十二月八日～十二月十九日）		
104(2)	1942	昭和17	3	15		画期的戦時立法 国民医療法案への期待		横田 忠郎
104(2)	1942	昭和17	3	15		社会事業団体へ御下賜金 輝く表彰九二三団体		
104(2)	1942	昭和17	3	15		慶福会の社会事業助成金と功労者には終身奨励年金		
104(2)	1942	昭和17	3	15		国民医療法案を巡りて本連盟運動の全貌 第一回私設医療社会事業懇談会（一月二十五日）概況		
104(2)	1942	昭和17	3	15		国民医療法案を巡りて本連盟運動の全貌 第二回私設医療社会事業懇談会（三月七日）		
104(2)	1942	昭和17	3	15		国民医療法に関する本連盟の運動日誌抄録		
104(2)	1942	昭和17	3	15	会議報告	二月七日定例常務理事会		
104(2)	1942	昭和17	3	15	会議報告	二月二十八日定例常務理事会		
104(2)	1942	昭和17	3	15		建国祭の佳日を中心に多彩なる催しの種々 日本育児院（岐阜県）移転増築竣工／白十字会村山療養園（東京府）開園式／日本少国民文化協会発会式／軍人援護会片瀬臨海寮（神奈川県）増築落成式／賛育会石島病院（東京深川）開院式		
104(2)	1942	昭和17	3	15		方面委員全国代表会議		
104(2)	1942	昭和17	3	15		医療保護懇談会		
104(2)	1942	昭和17	3	15	新刊紹介	『武田慎治郎記念誌』		
104(2)	1942	昭和17	3	15		東京育成園主催白衣勇士招待会		
104(2)	1942	昭和17	3	15		日誌の中より（十二月二十二日～三月二日）		
105	1942	昭和17	4	15		畏し御聖慮・宮内省 帝都の社会事業施設を御視察		
105	1942	昭和17	4	15		本連盟役員選挙（中間報告）		
105	1942	昭和17	4	15		厚生省提唱健民運動の展開 五月一日より一億健康！		
105	1942	昭和17	4	15		少年保護運動を活潑に 少年保護法発令二十年		
105	1942	昭和17	4	15		聖徳太子奉讃診療開く		
105	1942	昭和17	4	15		平安養育院（京都市）移転		
105	1942	昭和17	4	15		北京市天橋を中心とする貧民調査（上）		華北社会事業協議会
105	1942	昭和17	4	15		宿泊事業雑考		芳野 芳雄
105	1942	昭和17	4	15		健民運動児童愛護週間の実施 五月一日～五月八日		
105	1942	昭和17	4	15		傷痕軍人遺家族の職業補導に完璧 陸軍で積極的斡旋		
105	1942	昭和17	4	15		山県つる女史（聖ヒルダ養老院）の美挙		
105	1942	昭和17	4	15		北海道社会協会評議員会開催		
105	1942	昭和17	4	15		消息		
105	1942	昭和17	4	15		日誌の中より（三月四日～三月三十日）		
106	1942	昭和17	5	15		厚生省小島事務官を囲んで 私設医療保護事業懇談会		
106	1942	昭和17	5	15	会議報告	四月二十三日定例常務理事会		
106	1942	昭和17	5	15	会議報告	五月八日緊急常務理事会		
106	1942	昭和17	5	15		北京市天橋を中心とする貧民調査（下）		華北社会事業協議会
106	1942	昭和17	5	15		体力法の改正に伴ふ乳幼児体力検査に関する解説		
106	1942	昭和17	5	15		安針塚へ詣るの記		鶴見 欣次郎
106	1942	昭和17	5	15		新加盟団体紹介		
106	1942	昭和17	5	15		消息		
106	1942	昭和17	5	15		有栖川宮記念厚生資金 本連盟加盟団体の光栄		
106	1942	昭和17	5	15		日誌の中より（四月二日～五月十二日）		
107	1942	昭和17	6	15		第十四回代議員会 新代議員名簿（二二八名）		
107	1942	昭和17	6	15		厚生省生活局長、予防局長更迭		
107	1942	昭和17	6	15		東京私設社会事業連盟提出緊急動議		
107	1942	昭和17	6	15		日本医療団首脳決定		

『私設社会事業』総目次

107	1942	昭和17	6	15	会議報告	六月十二日監事会		
107	1942	昭和17	6	15	会議報告	六月十二日定例常務理事会		
107	1942	昭和17	6	15	会議報告	六月十三日第十五回理事会		
107	1942	昭和17	6	15	会議報告	六月十三日緊急理事会記録		
107	1942	昭和17	6	15	会議報告	六月十五日緊急常務理事会		
107	1942	昭和17	6	15		東京府社会事業協会創立二十五周年記念会		
107	1942	昭和17	6	15		上宮教会満洲開拓者追悼会		
107	1942	昭和17	6	15		第三回鍼灸講習会開く 中央盲人福祉協会主催		
107	1942	昭和17	6	15		養老院収容者に対し衣料切符の交付を望む		宇野津 外雄
107	1942	昭和17	6	15		昭和十五年度決算		
107	1942	昭和17	6	15		昭和十六年度決算		
107	1942	昭和17	6	15		昭和十七年度予算		
107	1942	昭和17	6	15	紹介	山室全集編纂委員会成立		
107	1942	昭和17	6	15		寄稿家別会報要目一覧表（自昭和八年二月至昭和十七年四月）（一）		
107	1942	昭和17	6	15		日誌の中より（五月十五日～六月十五日）		
108	1942	昭和17	7	15		連盟の再出発		河東田 教美
108	1942	昭和17	7	15	会議報告	六月二十五日定例常務理事会		
108	1942	昭和17	7	15		緑林に風薫る大満洲 慶祝建国十周年全国社会事業大会の概況		平野 義一
108	1942	昭和17	7	15		満洲より帰って		松島 正儀
108	1942	昭和17	7	15		満洲国に於ける天主教の社会事業		谷川 貞夫
108	1942	昭和17	7	15		簡易旅館へ宿泊する人達のことを考へると		芳野 芳雄
108	1942	昭和17	7	15		『健民運動団体協議会』開催		
108	1942	昭和17	7	15		日満連盟強化に付ての懇談		
108	1942	昭和17	7	15		保姆の修錬道場 知恩院勢至堂で		
108	1942	昭和17	7	15		寄稿家別会報要目一覧表（自昭和八年二月至昭和十七年四月）（二）		
108	1942	昭和17	7	15		日誌の中より（六月十六日～七月十五日）		
109	1942	昭和17	8	15		日華社会事業連盟結成に関する経過概要		三輪 政一
109	1942	昭和17	8	15		不良とは何んぞや		橋本 勝太郎
109	1942	昭和17	8	15		御下賜の煉乳 東京府の伝達式		
109	1942	昭和17	8	15		大阪朝日新聞社会事業団改称		
109	1942	昭和17	8	15		仏眼協会の内容整備 浅草本願寺の新計画		
109	1942	昭和17	8	15		厚生道場開設 婦人セツルメント		
109	1942	昭和17	8	15		厚生保姆生徒募集		
109	1942	昭和17	8	15		全日本私設社会事業連盟を大日本社会事業報国会と改称 規約改正		
109	1942	昭和17	8	15	会議報告	七月十八日定例常務理事会		
109	1942	昭和17	8	15	会議報告	八月五日定例常務理事会		
109	1942	昭和17	8	15		寄稿家別会報要目一覧表（自昭和八年二月至昭和十七年四月）（二）（マ）		
109	1942	昭和17	8	15		日誌の中より（七月十八日～八月十五日）		
110	1942	昭和17	9	15		新発足に就いて		中田 駿郎
110	1942	昭和17	9	15		里子事業		原 善太郎
110	1942	昭和17	9	15		厚生思想の教育		河東田 教美
110	1942	昭和17	9	15		満洲大日向村を観る		平野 義一
110	1942	昭和17	9	15		彙報		
110	1942	昭和17	9	15	会議報告	八月二十日第十六回理事会開催		
110	1942	昭和17	9	15	会議報告	八月二十日代議員会開催		
110	1942	昭和17	9	15	会議報告	八月二十日緊急理事会		
111	1942	昭和17	11	15		社事雑感		浜田 光雄
111	1942	昭和17	11	15		父と子		大坂 鷹司
111	1942	昭和17	11	15		関西私設社会事業女子従事員錬成会開催さる！		
111	1942	昭和17	11	15	会議報告	九月十七日定例理事会		

『私設社会事業』総目次

111	1942	昭和17	11	15	会議報告	十月十一日定例理事会		
111	1942	昭和17	11	15	会議報告	十月二十三日臨時理事会		
111	1942	昭和17	11	15	会議報告	十一月五日在京理事会		
111	1942	昭和17	11	15		彙報		
111	1942	昭和17	11	15		故松尾喜七氏（平安義徳会）より本会へ寄附金		
111	1942	昭和17	11	15		訃報・清浦奎吾伯爵薨去		
112	1942	昭和17	12	15		争ひ無き世界		中田 駿郎
112	1942	昭和17	12	15		至尊の御楯		中山 理々
112	1942	昭和17	12	15	消息	高松宮殿下「近江兄弟社」御視察		
112	1942	昭和17	12	15	消息	会館名称変更（大阪府社会事業会館→大阪府厚生会館）		
112	1942	昭和17	12	15	消息	徳永恕子女史へ浄財一万円贈呈		
112	1942	昭和17	12	15	消息	築地本願寺社会部創立二十周年記念式挙行		
112	1942	昭和17	12	15	消息	若葉学院新発足（旧平井学院）		
112	1942	昭和17	12	15	消息	同志社大学教授 厚生問題研究発表会開催		
112	1942	昭和17	12	15	消息	訃報・吉田悦蔵氏（近江兄弟社理事長）		
112	1942	昭和17	12	15		社会事業戦時体制確立協力会議設置案成る 大日本社会事業報国会の新しき方途を闡明！		
112	1942	昭和17	12	15		昭和十七年度『私設社会事業』主要記事		
112	1942	昭和17	12	15	会議報告	十一月十二日定例理事会		
112	1942	昭和17	12	15		日誌の中より（十一月十五日～十二月十日）		
113	1943	昭和18	1	15	主張	戦時厚生事業の展開 現実を規正するもの		谷川 貞夫
113	1943	昭和18	1	15		畏き大御心 紀元の佳節に御奨励金御下賜 光栄の九百四十団体		
113	1943	昭和18	1	15		慶福会の助成金、奨励金		
113	1943	昭和18	1	15		聖恩洽し！ 皇后、皇太后両陛下社会事業団体に木炭御下賜		
113	1943	昭和18	1	15		身延深敬病院 身延深敬院と改称 / 佐賀養老院々長高閑者知一氏就任		
113	1943	昭和18	1	15		ひらめき		正木 ひろし
113	1943	昭和18	1	15		医療保護事業当面の諸問題		丹羽 昇
113	1943	昭和18	1	15		雑誌『少年保護』一月号を読み		橋本 勝太郎
113	1943	昭和18	1	15		食物と国民性（一）		二木 謙三
113	1943	昭和18	1	15		主事就任の御挨拶		鍋田 勇吉
113	1943	昭和18	1	15		“戦勝の春に魁け” 厚生事業大同団結 三団体合同の協議会開催		
113	1943	昭和18	1	15	会議報告	本会第十六回代議員会開催		
113	1943	昭和18	1	15	会議報告	慶福会功労者選奨 本会関係は中田理事長外五名		
113	1943	昭和18	1	15		浅草寺病院朗らか新風景 / 小樽育成院々長南野三郎氏新任		
113	1943	昭和18	1	15		高田慈光院（三重）院長事務取扱に青山新七郎氏就任		
113	1943	昭和18	1	15		八幡学園（千葉）新園長久保寺光久氏就任		
113	1943	昭和18	1	15		事務日誌抄（一月六日～一月二十日）		
114	1943	昭和18	2	15	時言	我等の陣営		浜田 光雄
114	1943	昭和18	2	15		性に率ふ		中田 駿郎
114	1943	昭和18	2	15		聖箭		
114	1943	昭和18	2	15		食物と国民性（二）		仁木 謙三
114	1943	昭和18	2	15	書評	富田愛次郎著『日本社会事業の発達』を読み		古坂 明詮
114	1943	昭和18	2	15	随感	今様松下村塾		鍋田 勇吉
114	1943	昭和18	2	15	会告	加盟団体調査への協力依頼		
114	1943	昭和18	2	15		厚生事業の総力を集結して戦力増強に協力 戦時厚生事業緊急協議会開催さる		
114	1943	昭和18	2	15		第十六回代議員会開催		
114	1943	昭和18	2	15	地方連盟の脱皮	京都社会事業報国会		
114	1943	昭和18	2	15	地方連盟の脱皮	福井県社会事業報国会		
114	1943	昭和18	2	15	地方連盟の脱皮	朝鮮社会事業報国会		
114	1943	昭和18	2	15		全国医療保護団体の組織へ		
114	1943	昭和18	2	15		社会事業各団体に東京市より奨励金交付さる		

『私設社会事業』総目次

114	1943	昭和18	2	15		三田学園（東京芝区）類焼		
114	1943	昭和18	2	15		東京社会事業報国会の活動		
114	1943	昭和18	2	15		訃報・河東田教一氏、木村玄俊氏、戸上訓礼氏		
115	1943	昭和18	3	15	時言	隣保厚生圏の郷土的設営		谷川 貞夫
115	1943	昭和18	3	15		命令の及ばぬ世界	理事長	中田 駿郎
115	1943	昭和18	3	15	書評	橋本勝太郎将軍著『少年の性格と環境』	家庭学校長	今井 新太郎
115	1943	昭和18	3	15	書評	安藤正純氏の近著『政界を歩みつゝ』を讀みて		中山 理々
115	1943	昭和18	3	15		老の問題に就て	浴風会・浴風園	相田 良雄
115	1943	昭和18	3	15	会告	会費納入の件		
115	1943	昭和18	3	15		北日本社会事業女子従事員錬成会（要綱）		
115	1943	昭和18	3	15		弱体者への福音！ 保健道場清明寮		
115	1943	昭和18	3	15		近江基督教慈善教化財団、近江兄弟社と改称新発足		
115	1943	昭和18	3	15		佐野子守学校改称（→佐野育成館、栃木県）		
115	1943	昭和18	3	15		事務日誌抄（一月二十一日～三月十五日）		
116	1943	昭和18	5	15		社会事業と厚生運動（「全国民間社会事業経営者修練会」テキスト） 課題「厚生事業理念の攻究並に建設」		中田 駿郎
116	1943	昭和18	5	15		戦時社会事業の強化拡充に関する厚生次官通牒（昭和十八年三月十七日）		
116	1943	昭和18	5	15		『全国医療保護事業報国会』結成さる		
116	1943	昭和18	5	15		附・全国医療保護事業報国会規約		
116	1943	昭和18	5	15		第一回『全国民間社会事業経営者修練会』要綱		
117	1943	昭和18	6	15	主張	社会事業指導精神の展開		谷川 貞夫
117	1943	昭和18	6	15		■せこの熱情と体験を		丸山 鶴吉
117	1943	昭和18	6	15		全国民間社会事業「経営者修練会」の記		
117	1943	昭和18	6	15	修練会に参加して	京都・脇田悦三		
117	1943	昭和18	6	15	修練会に参加して	東京・喜多順輝		
117	1943	昭和18	6	15	修練会に参加して	東京・高山秀雄		
117	1943	昭和18	6	15	修練会に参加して	埼玉・河東田教美		
117	1943	昭和18	6	15	修練会に参加して	京都・原善太郎		
117	1943	昭和18	6	15	修練会に参加して	宮城・斎藤久吉		
117	1943	昭和18	6	15	修練会に参加して	東京・今井新太郎		
117	1943	昭和18	6	15	修練会に参加して	宮城・大坂鷹司		
117	1943	昭和18	6	15	修練会に参加して	島根・角井義雄		
117	1943	昭和18	6	15	修練会に参加して	大阪・吉村敏男		
117	1943	昭和18	6	15		全国民間社会事業経営者修練会修了者名簿		
117	1943	昭和18	6	15	随感	修練会落穂集		鍋田 勇吉
117	1943	昭和18	6	15		大僧正と餅代		
117	1943	昭和18	6	15		帰郷だより 書簡一束（群馬：田辺熊蔵、広島：下田広次郎）		
117	1943	昭和18	6	15		訃報・松田甚次郎氏		
118	1943	昭和18	7	15	主張	社会事業の本来性と国策性		谷川 貞夫
118	1943	昭和18	7	15		生るべき全国的統制機関		浜田 光雄
118	1943	昭和18	7	15		聖箭		
118	1943	昭和18	7	15		社会事業の一元化		河東田 教美
118	1943	昭和18	7	15	全国医療保護事業報国会	第一回八月四日		
118	1943	昭和18	7	15	全国医療保護事業報国会	第二回八月十日		
118	1943	昭和18	7	15	全国医療保護事業報国会	第三回八月二十八日		
118	1943	昭和18	7	15		事務日誌抄（七月一日～七月二十六日）		
119	1943	昭和18	8	15	主張	農村社会事業の方途 その在り方の一側面について		谷川 貞夫
119	1943	昭和18	8	15		私設社会事業に於ける致命的検討課題		松島 正儀
119	1943	昭和18	8	15		聖箭		
119	1943	昭和18	8	15		勤労厚生機構の整備		桐原 葆美

『私設社会事業』総目次

119	1943	昭和18	8	15		鳥取の大震災		
119	1943	昭和18	8	15	会議録	七月二日在京理事会		
119	1943	昭和18	8	15	会議録	八月二十二日定例理事会		
119	1943	昭和18	8	15		事務日誌抄（八月二日～八月三十日）		
120	1943	昭和18	9	15	主張	国内態勢強化と中央機関の一元化		谷川 貞夫
120	1943	昭和18	9	15		決戦厚生事業の一つの構想 新潟県直江津町の新しき試み		牧 賢一
120	1943	昭和18	9	15		聖箭		
120	1943	昭和18	9	15		社会事業国策性の再検討		中村 遥
120	1943	昭和18	9	15	随感	標語の価値		鍋田 勇吉
120	1943	昭和18	9	15		鳥取・島根を見舞ふ		浜田 光雄
120	1943	昭和18	9	15	会議録	九月十日在京理事会		
120	1943	昭和18	9	15		事務日誌抄（九月三日～十月二十六日）		
120	1943	昭和18	9	15		鳥取育児院を慰問 復興に角井義雄氏活躍		
120	1943	昭和18	9	15		訃報・今井鉄城氏、高山秀雄氏		
121	1943	昭和18	10	15	主張	決戦即応の配置		谷川 貞夫
121	1943	昭和18	10	15		斯業戦線の隘路		姫井 芳堂
121	1943	昭和18	10	15		聖箭		
121	1943	昭和18	10	15	随感	茶碗の醸出		脇田 悦三
121	1943	昭和18	10	15		高松宮殿下令旨奉戴記念日に功労者表彰の榮譽		
121	1943	昭和18	10	15		厚生省関係藍綬褒章拝授の光栄者		
121	1943	昭和18	10	15		社会事業文献賞受賞者		
121	1943	昭和18	10	15		教護事業功労者表彰さる		
121	1943	昭和18	10	15		中央官庁の決戦機構		